

市町村名		豊見城市					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		文化観光創出事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア	
	担当部課名		都市計画部 振興開発課		事業実施（予定）年度	平成24～28年度	
事業内容		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・本市の観光振興の発展を図るため、豊見城城址公園とその周辺について、前年度に策定した土地利用基本構想を基に、自然環境・歴史文化・観光が調和する、実現可能で具体性のある「豊見城城址跡地利用基本計画」を策定する。					
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a) 当初予算額	0	10,700			
	(b) 予算現額	9,975	10,700				
	(c) 増減額 (b-a)	9,975	0				
	(d) 繰越額	—	0				
	A. 計 (b+d)	9,975	10,700				
	B. 執行済額	8,075	10,699				
	うち交付金充当額	6,459	8,559				
	次年度繰越額	0	0				
	執行率（％）(B/A)	81.0%	100.0%				
予算の状況の説明		当初予定していた事業内容はすべて実施した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	豊見城城址跡地利用基本計画の策定 （豊見城城址公園とその周辺に係る土地利用計画の策定）	目標	（土地利用構想の策定）	（基本計画の策定）	（ ）	（ ）	
		実績	土地利用構想の策定	基本計画の策定			
			目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績					
達成状況説明		・豊見城城址跡地利用のニーズを把握すべく、市民等を対象としたアンケート調査を実施した。 ・計画の策定に当たり有識者委員会を立ち上げて、計画の検討を行った。 ・県が整備構想を進めていた沖縄工芸の杜（仮称）の誘致活動を行った結果、候補地として選定された。					
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	豊見城城址跡地利用基本計画の策定 （豊見城城址公園とその周辺に係る土地利用計画の策定）	目標	（無）	（構想の策定）	（基本計画の策定）	（ ）	（ ）
		実績		構想の策定	基本計画の策定		
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
進捗状況説明		・豊見城城址跡地利用のニーズを把握すべく、市民等を対象としたアンケート調査を実施した。 ・計画の策定に当たり有識者委員会を立ち上げて、計画の検討を行った。 ・県が整備構想を進めていた沖縄工芸の杜（仮称）の誘致活動を行った結果、候補地として選定された。					

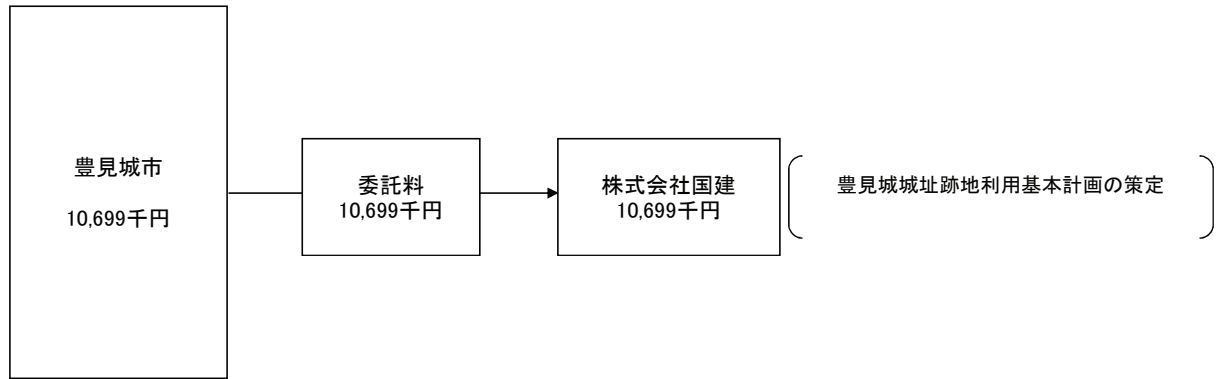
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>(ア)事業を推進する上で明らかになった課題や懸念される問題点、社会情勢や住民ニーズなど外部環境の変化への対応の必要性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業用地が民有地のため、用地確保に向けた地権者との合意形成を引き続き行っていく必要がある。 ・埋蔵文化財に対して適切な対応を取る必要がある。 ・公的利用を維持する収益事業について検討する必要がある。 <p>(イ)課題解決に向けて協働して取り組む主体の活動状況や留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県、市、自治会、民間企業など様々な主体が存在するため、各主体が豊見城グスクのブランド確立をめざし、豊見城城址跡地全体のコンセプトや魅力を理解する必要がある。 	<p>実現に向けた方策を検討するにあたり、</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)整備手法の検討(発掘調査等の実施) (2)用地取得の検討(どのエリアから購入するのか) (3)豊見城城址跡地の一体的な管理運営の検討 (4)市民協働体制の確立(魅力ある豊見城グスクブランドの確立) <p>などについて、今後さらに検討して行く必要がある。</p>

今後の取り組み方針

- ・平成27年度以降の用地購入等をめざし、園路等の設計や測量、不動産鑑定等を実施する。
- ・整備手法については今後の発掘方法なども含めて関係機関等と調整しながら検討していく。
- ・空手道会館の事業主体である沖縄県と、豊見城城址跡地の一体的な管理運営や市民協働体制の確立にむけて、協議・調整をしていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
10,699	10,699	8,559	2,140	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③		観光関連団体支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
	担当部署名	企画部 商工観光課		事業実施(予定)年度	平成25～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光事業等の振興を図るため、当該事業を行う観光協会等の団体へ補助金の交付を行い、市内観光団体の育成を行うとともに観光商品の充実や新たな事業の創造を促し、更なる観光客誘致を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額			20,000			
		(b) 予算現額			20,000			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0				
		(d) 繰越額	-	0				
		A. 計 (b+d)	0	20,000				
	B. 執行済額			19,581				
	うち交付金充当額			15,664				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率 (%) (B/A)			97.9%				
予算の状況の説明		・不要額419千円については、各補助事業者の実績報告書を精査した結果、豊見城市観光振興等支援事業補助金交付要綱の対象外経費と判断し、戻入処理したことにより発生している。書類審査、選定委員会によるプレゼン審査を経て補助事業者選定を行い、事業実施したこと他、活動目標、成果目標である観光客誘致効果を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	①観光資源開発、既存観光資源の魅力向上	目標	(-)	(20,000千円)	()	()		
	②観光イベント事業 ③観光情報充実、発信事業など、観光振興事業等への補助金を交付、支援。	実績	-	19,581千円				
		目標	()	()	()	()		
	実績							
達成状況説明	・第1次選考 4団体申請 3団体交付決定(①市観光協会「ドリームイルミネーション」:10,000千円)、②おやじラブロックフェスティバル実行委員会「第8回おやじラブロックフェスティバル」:6,000千円、③沖縄マリンカップ委員会「第3回マリンカップ沖縄INとよさき」:4,000千円 ・H25.11 マリンカップ延期及び補助金中止申請を受け、第2次選考を実施。3団体申請 1団体交付決定(①(株)IMP「沖縄IMPフェスティバル凱旋ハレドデモラン」:4,000千円) 上記、計3団体 20,000千円交付決定。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(H28年度)	
	主要観光施設への観光客数		目標	(230万人)	(243万人)	(257万人)	()	(299万人)
			実績		300万人	413万人		
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	()
			実績					
進捗状況説明	成果目標については、豊見城市観光振興計画における平成34年度目標値「350万人」をもとに、各年度の目標を設定している。 補助金交付事業への入場者等 ①市観光協会「ドリームイルミネーション」:10,000千円):イルミネーション1.2万人、カウントダウン1万人 計2.2万人 ②おやじラブロックフェスティバル実行委員会「第8回おやじラブロックフェスティバル」:6,000千円):6,038人 ③(株)IMP「沖縄IMPフェスティバル凱旋ハレドデモラン」:4,000千円):1.2万人 計 約4万人							

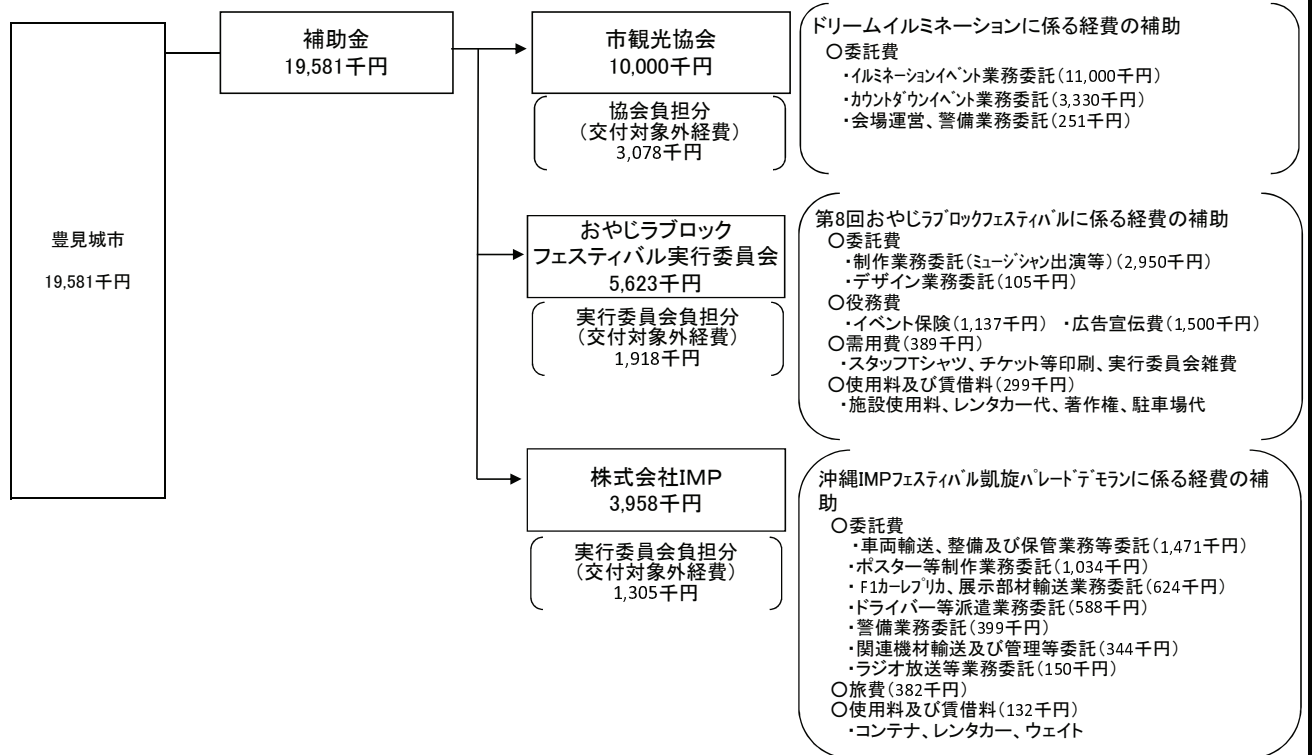
推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象事業となります観光イベントには、事前準備期間を要することもあり、早めの公募や事業選定作業を行う必要があること、新規事業であった為、当該補助事業の周知などの対応が不十分であったと考えます。

今後の取り組み方針

・観光イベントのみへの補助交付ではなく、地道に観光の裾野を広げる活動をされている団体等観光振興に資する団体の育成及び観光商品の充実、新たな事業の創出を促し、更なる観光客誘客を図っていきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
25,882	19,581	15,664	3,917	6,301



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助交付団体選定については、公平に判断するため、選定委員会を設置し、事業内容等を精査し、選定しており、妥当であったと考えている。
○	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○対象経費等については豊見城市観光振興等支援事業補助金交付要綱により事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
○	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

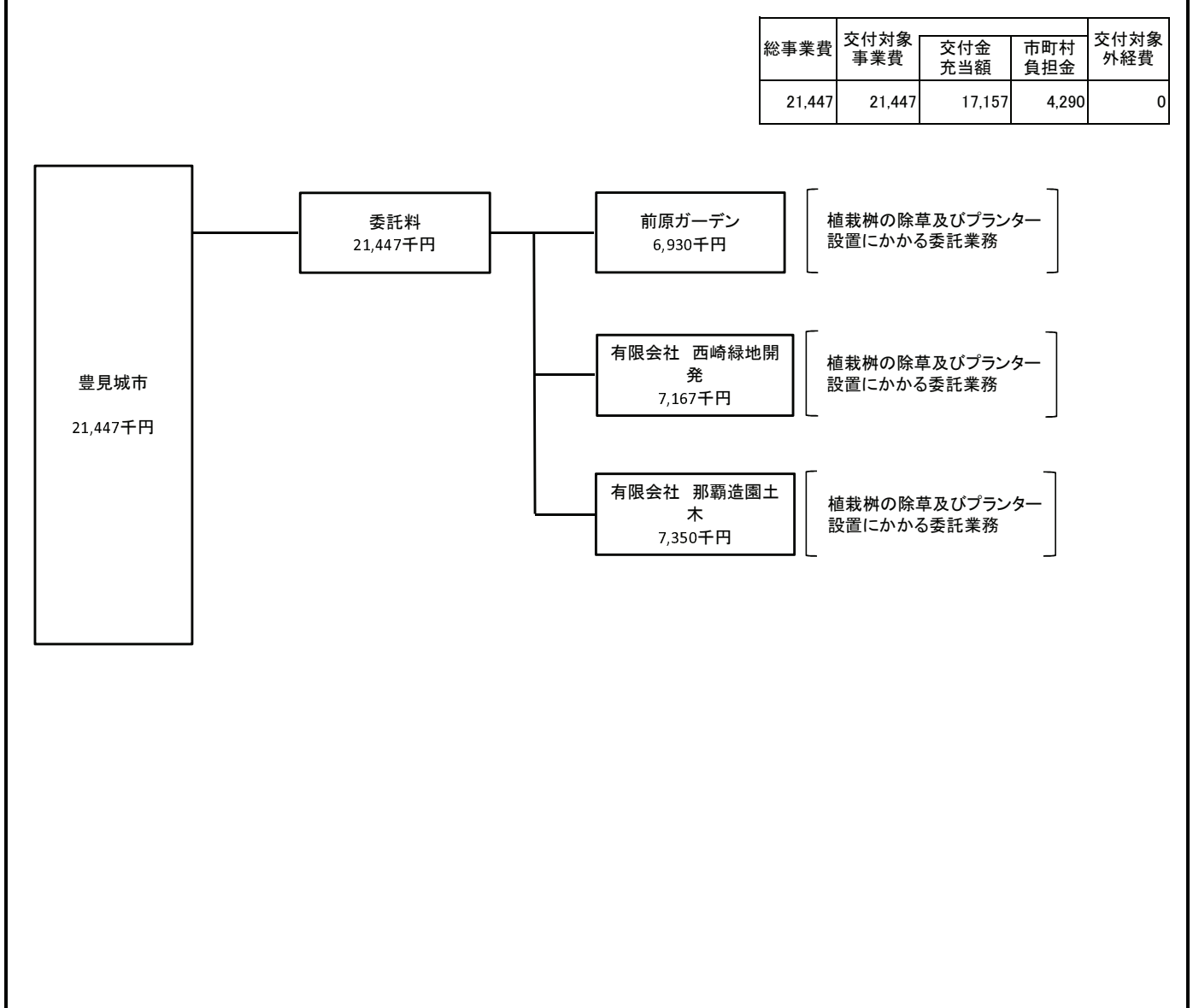
市町村名		豊見城市					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④		観光振興地域環境美化強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-イ	
	担当部課名	経済建設部 道路課		事業実施（予定）年度		平成25～29年度	価値創造のまちづくり
事業内容		南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、豊崎、瀬長地域の市道植栽樹の除草清掃や美らSUNビーチ、レンタカーステーション、沖縄アウトレットモールあしびなー、瀬長島ホテルへ繋がる市道沿いにプランターを設置し、花木等の植栽により美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。					
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	34,000			
		(b) 予算現額	0	21,447			
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 12,553			
		(d) 繰越額	—	0			
		A. 計 (b+d)	0	21,447			
	B. 執行済額		0	21,447			
	うち交付金充当額		0	17,157			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（％）(B/A)			100.0%			
予算の状況の説明		プランターについて、当初想定していた金額より安価であったため減額補正を行った。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	植栽樹の除草清掃	目標	()	(植栽樹の除草清掃)	()	()	
		実績		植栽樹の除草清掃			
	プランターの設置及び花木等の植栽	目標	()	(プランターの設置及び花木等の植栽)	()	()	
		実績		プランターの設置及び花木等の植栽			
達成状況説明	・瀬長、豊崎地区の植栽樹の伐根除草を3回行った。 ・プランターを464個設置し、その後、灌水を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	植栽樹の除草清掃	目標	()	()	(植栽樹の除草清掃)	()	()
		実績			植栽樹の除草清掃		
	プランターの設置及び花木等の植栽	目標	()	()	(プランターの設置及び花木等の植栽)	()	()
		実績			プランターの設置及び花木等の植栽		
	進捗状況説明	・植栽樹の除草清掃、設置したプランターに、ハイビスカスやブーゲンビリアの植栽を行うことで、魅力ある観光地づくりに繋がった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・プランター設置後の花木の管理について、灌水以外に台風時の対策の検討が必要。	・台風時の対策として、プランターに防風ネット等の設置を検討する。

今後の取り組み方針

台風対策については、本事業と別予算にて対応を検討し、今年度は引続き植栽柵の除草清掃及びプランターへの灌水を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の流れ、点検項目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により決定しており、妥当であったと考えられる。 ○費目・用途について、委託業務に必要な除草清掃費用、プランター作成及び灌水費用を計上しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-⑤	西海岸観光地域利用促進事業 （豊崎周辺海域漂着海藻・海草対策検討事業）		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	経済建設部 都市施設課	事業実施 （予定）年度	平成25年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本市西海岸の豊崎地内に所在するビーチに大量に漂着する海藻藻類の発生原因を調査し、その抑制方法及び処理又は活用を研究することによりビーチを含む西海岸一帯の良好な環境を整備する。					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	(a) 当初予算額		9,240			
	(b) 予算現額		9,240			
	(c) 増減額 (b-a)	0	0			
	(d) 繰越額	—	—			
	A. 計 (b+d)	0	9,240			
	B. 執行済額		9,030			
	うち交付金充当額		7,224			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率 (%) (B/A)		97.7%			
予算の状況の説明	当初予算に計画した事業は全て実施し、活動指標、成果指標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	H25活動目標（指標）	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	漂着海藻・海草に係る調査及び対策の検討	目標	()	(漂着海藻・海草に係る調査及び対策の検討)	()	()
		実績		漂着海藻・海草に係る調査及び対策の検討		
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明	平成25年度事業の調査及び対策検討業務により、漂着海藻・海草の短期・中期・長期の対策工が報告された。					
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H25成果目標（指標）	基準値 （年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （年度）
	漂着海藻・海草に係る調査及び対策の検討	目標	()	()	漂着海藻・海草に係る調査 （ ）	()
		実績			漂着海藻・海草に係る調査及び 対策の検討	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
		実績				
	進捗状況説明	平成25年度事業の調査及び対策検討業務により、漂着海藻・海草の対策方法が構築された。				

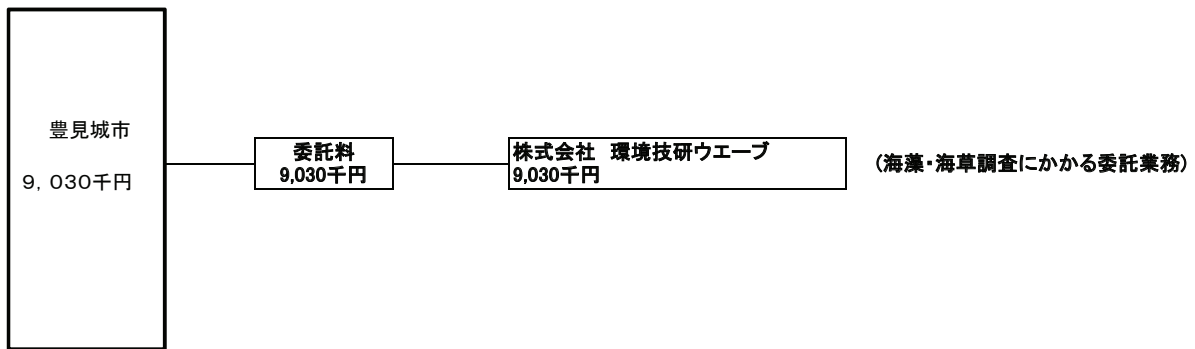
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成25年度事業の調査及び対策検討業務により、海藻成分は野菜(畑など)により効果があるとの報告があるが、一般市民への周知不足により肥料としての有効活用が乏しい状況である。	平成25年度事業による調査及び対策検討業務結果を一般市民等へより広く周知するための周知方法を検討する。

今後の取り組み方針

平成25年度事業の調査及び対策検討業務結果を基に簡易看板やチラシ、広報等を作成し、公園内や役所窓口での配布等の周知活動を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,030	9,030	7,224	1,806	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者は指名入札競争により選定し、額において妥当だと考えている。 ○費目・用途については事業目的の達成の観点から必要なのか等について、現場の状況により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	豊見城市景観計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-7	
担当部課名	都市計画部 都市計画課	事業実施（予定）年度	平成25～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	価値創造のまちづくり		
事業内容	地域独自の風景を活かした景観像を明確にし、観光地にふさわしい景観形成を実現するために現況及び課題を抽出し、基本方針を検討するための基礎調査を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)			4,700			
				4,700			
				0			
			—	0			
				4,700			
	B. 執行済額			4,693			
	うち交付金充当額			3,754			
	次年度繰越額			0			
	執行率（%）(B/A)			99.9%			
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	基礎調査報告書の策定	目標	()	(基礎調査報告書の策定)	()	()	
		実績		基礎調査報告書の策定			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	基礎調査業務を発注（検討委員会2回、庁内ワークショップ2回、景観まちづくり塾3回、市民アンケート調査）した。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	基礎調査報告書の策定	目標	()	()	基礎調査報告書の策定	()	()
		実績			基礎調査報告書の策定		
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	今後予定する計画素案作成、計画策定に必要な基礎調査を行うことができた。					

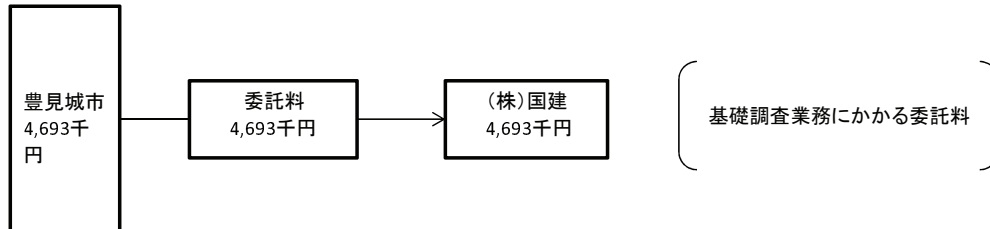
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>景観計画の策定に向け、市民への周知及び合意形成を図るうえで市民の景観に対する意識の醸成が必要である。</p>	<p>景観計画は、文化、観光、産業等多くの分野が関連することから、庁内の連携及び市民の景観に対する意識の醸成を図るため、説明会等の継続的な取り組み等を要する。</p>

今後の取り組み方針

庁内の連携及び市民の景観に対する意識の醸成を図るため説明会等の継続的な取り組みを実施しながら、今年度作成した基礎調査報告書をもとに、景観計画素案の作成、景観計画の策定、条例制定、ガイドライン作成等を行い、本市の特徴を活かした良好な景観形成を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,693	4,693	3,754	939	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、指名型プロポーザル方式により選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑦		西海岸活性化構想事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
	担当部課名	都市計画部 振興開発課		事業実施（予定）年度		平成24～27年度	世界水準の観光リゾート地の形成	
事業内容		平成24年度に策定された「西海岸地区整備基本構想」を踏まえて、「コミュニティゾーン」に位置する与根地区の地理的特性を活かし、観光振興、企業誘致、開発計画、周辺アクセス道路の整備など西海岸地区一帯の活性化に繋がる総合的な土地利用基本計画を策定する。今回は、コミュニティゾーンの核となりうる与根漁港を中心とした活性化方策の検討、漁民との話し合いなどを行った。						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	5,114				
		(b) 予算現額	14,280	3,927				
		(c) 増減額 (b-a)	14,280	▲ 1,187				
		(d) 繰越額	—	0				
		A. 計 (b+d)	14,280	3,927				
	B. 執行済額		14,280	3,927				
	うち交付金充当額		11,424	3,141				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%				
予算の状況の説明		入札により執行し、執行残については減額補正した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	土地利用基本計画の策定	目標	（土地利用構想の策定）	（基本計画の策定）	（ ）	（ ）		
		実績	土地利用構想の策定	具体的な活性化方策の調査検討				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
実績								
達成状況説明	・コミュニティゾーンの核となる与根漁港の活性化方策について漁民と意見交換を実施。 ・漁民に対するアンケートや漁港内施設への企業進出意向アンケートを実施した。 →当初はコミュニティゾーン全体の土地利用基本計画を目標としていたが、ゾーンの核となりうる与根漁港及び漁業者を中心とした活性化方策を検討した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	土地利用基本計画の策定	目標	（無）	（構想の策定）	（基本計画の策定）	（ ）	（ ）	
		実績		構想の策定	具体的な活性化方策の調査検討			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
			実績					
進捗状況説明	・コミュニティゾーンの核となる与根漁港の活性化方策について漁民と意見交換を実施。 ・漁民に対するアンケートや漁港内施設への企業進出意向アンケートを実施した。 →当初はコミュニティゾーン全体の土地利用基本計画を目標としていたが、ゾーンの核となりうる与根漁港及び漁業者を中心とした活性化方策を検討した。							

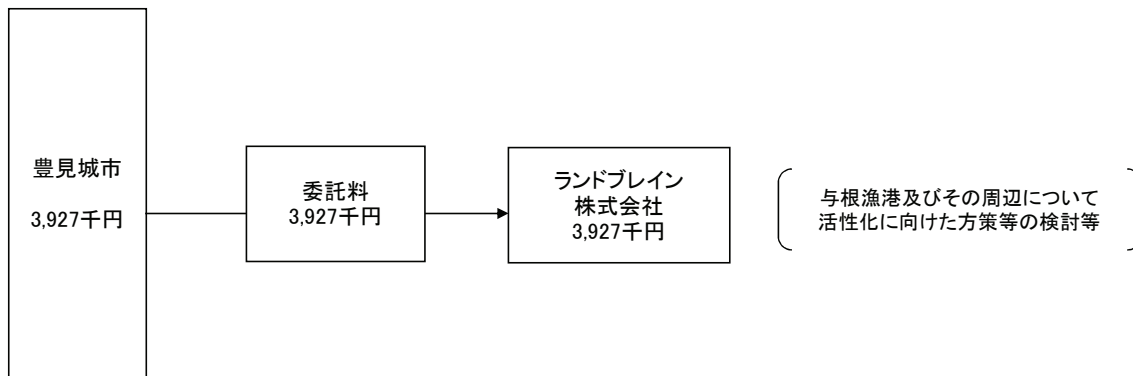
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(ア)事業を推進する上で明らかになった課題や懸念される問題点、社会情勢や住民ニーズなど外部環境の変化への対応の必要性等 ・豊崎地区に誘致している大型MICE施設や那覇広域都市計画区分見直し作業などの影響を受けて、コミュニティゾーン全体の土地利用計画ではなく、早期の整備実現の可能性がある与根漁港を中心とした活性化方策について具体的な整備案を提案できた。 (イ)課題解決に向けて協働して取り組む主体の活動状況や留意点 ・与根地区や漁業者を中心に、整備実現に向けた調整を実施する。	実現に向けた方策を検討するにあたり、 ・施設の整備規模 ・運営方法 ・企業誘致 などについて今後さらに漁業者との意見交換を実施し、早期の整備実現に向けて調整して行く必要がある。

今後の取り組み方針

今年度提案した整備イメージをもとに、施設の規模や運営手段について漁業者と意見交換を実施していく。その後、意見がまとまり次第、施設整備に向けて設計等を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,927	3,927	3,141	786	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により実施した。指名業者は企業組織、実績、知識等を勘案した上で指名委員会が指名しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	とみぐすく産業まつり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ		
担当部課名	企画部商工観光課	事業実施（予定）年度	平成25～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	豊見城市産品を一堂に会したイベントを実施することにより、豊見城市民および近隣市町村民、観光客に対し市内の各種産業のPRを行い、産業の振興、地域活性の起爆剤とする。また、異業種間での情報交流や交流の場とすることで、産業間の連携を産み出し、新たな産業の創出を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額		20,000			
		(b) 予算現額		20,000			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	—	0			
		A. 計 (b+d)	0	20,000			
	B. 執行済額			19,723			
	うち交付金充当額			15,778			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（%）(B/A)			98.6%			
予算の状況の説明		・当初計画どおり、とみぐすく産業まつりを開催した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	豊見城産業まつりの開催	目標	()	(まつりの開催)	()	()	
		実績		まつりの開催			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・平成26年1月に産業まつりを開催し、出展者数59社、来場者数30,190人を達成した。また、今後における産業まつりのあり方、規模、開催方法等についての検証も行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（24年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
	・産業まつりの来場者数	目標	とみぐすく祭り来場者数：50,000人	()	(20,000人)	()	(35,000人)
		実績			30,190人		
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・とみぐすく祭り来場者数50,000人を基準に、平成27年度に70%の35,000人を目標を掲げ、平成25年度は、20,000人（達成率57%）を目標とした。初開催であることから、広告代理店によるイベント周知に注力した結果、目標を大きく上回った。また、アンケート結果からは、事業者間の連携を促し、来場者への物産アピールにも効果があったものと思われる。					

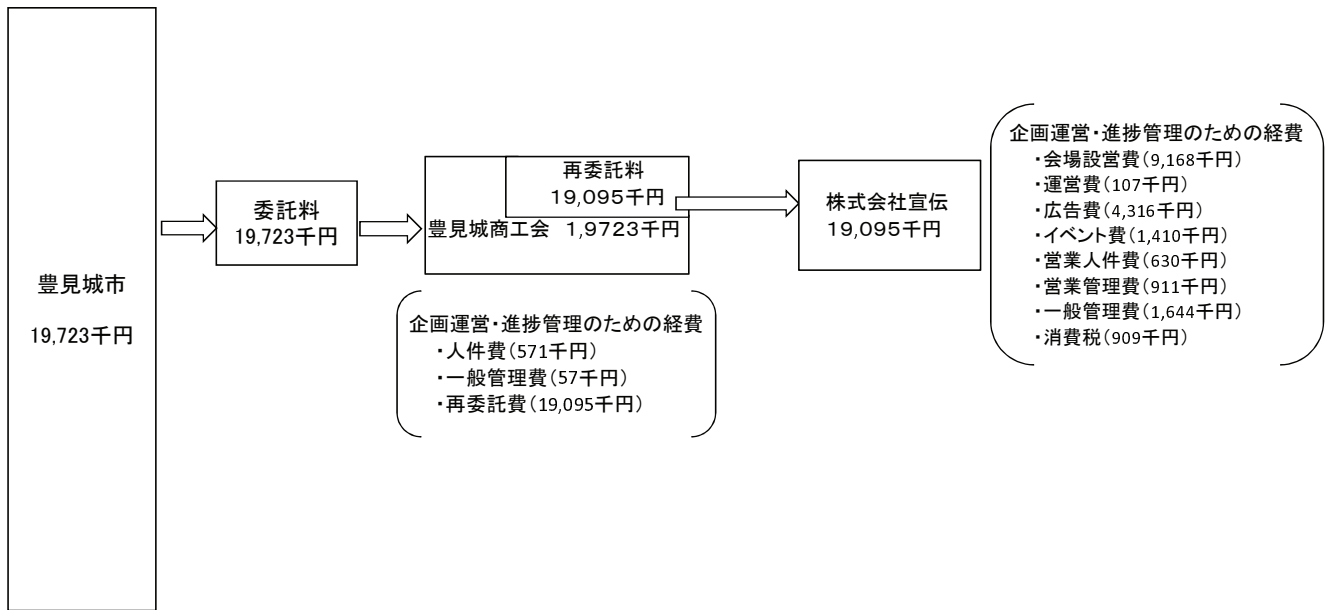
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・初開催ということから、駐車場の誘導、人員配置、会場配置、運営連絡体制に若干不足が生じた。	・第1回目の開催ノウハウを確実に継承し、十分な準備期間を持つことで、駐車場の誘導、人員配置、会場配置、運営連絡体制を改善する。
	・催事への出展が不慣れな事業者が多く、商工会から出展内容等についてアドバイスをを行ったが、展示方法がうまくいっていない事業者も数社あった。	・産業まつり開催前に、出展者向けに効果的な展示方法について、レクチャーを行う。

今後の取り組み方針

- ・JA、漁協、観光協会、商工会等で構成する実行委員会形式による開催を検討する。
- ・出展者から徴収する出展料を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,723	19,723	15,778	3,945	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○市内各種事業者等の意見を調整できる公的団体である市商工会と随意契約を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模に見合った効果を生み出した。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○出展料も含めて今後の産業まつりの在り方について検証する事業でもあるため、初開催にあたり出展料は徴収しなかった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、十分に精査して支出した。

市町村名		豊見城市					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨		西海岸観光地域利用促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
	担当部課名	経済建設部 都市施設課		事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)
事業内容	質の高いリゾート地を形成し利用促進するため、観光振興地域のビーチにおいて、マリンスポーツの快適な実施に必要な栈橋の購入、シャワー設備の増設を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a) 当初予算額	0	16,050			
	(b) 予算現額	47,278	16,049				
	(c) 増減額 (b-a)	47,278	▲ 1				
	(d) 繰越額	-	-				
	A. 計 (b+d)	47,278	16,049				
	B. 執行済額	47,276	15,143				
	うち交付金充当額	37,821	12,114				
	次年度繰越額	0	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%	94.4%				
予算の状況の説明	計画した事業は全て実施し、活動指標、成果指標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	・備品購入(浮栈橋)	目標	(備品購入 5件)	(1件)	()	()	
		実績	備品購入 5件	1件			
	・シャワー設備の増設	目標	(倉庫建設 1棟)	(屋外2組(8口) 屋内(8口))	()	()	
実績		倉庫建設 1棟	屋外2組(8口) 屋内(8口)				
達成状況説明	事業計画通り浮栈橋の購入及びシャワー設備の増設を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (H28年度)	
		目標	(230万人)	(243万人)	(257万人)	()	(299万人)
	実績		300万人	413万人			
	【参考指標】	目標	(-)	(-)	(-)	()	()
		実績		33万人	38万人		
進捗状況説明	成果目標については、豊見城市観光振興計画における平成34年度目標値「350万人」をもとに、各年度の目標を設定している。浮栈橋及びシャワー設備の増設を行ったことにより、観光地としての質の向上を図る事ができたが、備品の購入やシャワー設備の増設が年度末の3月であった為、平成25年度末時点の数値には影響が低いと考える。						

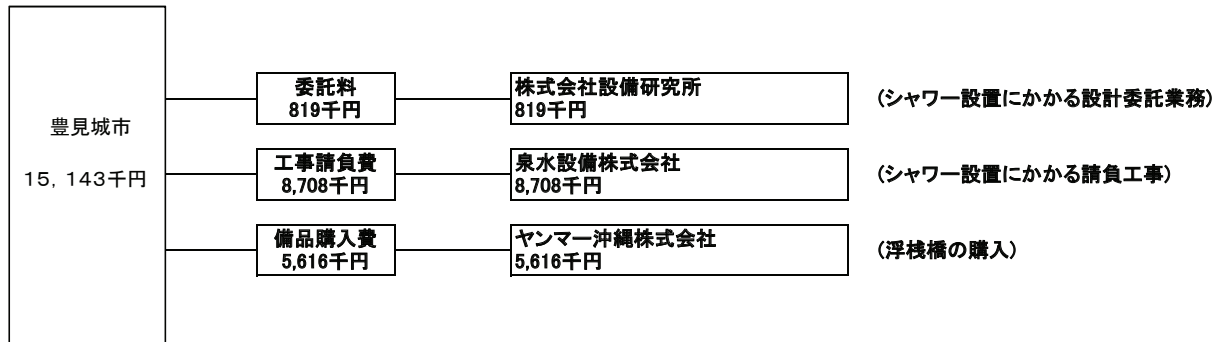
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成25年度内の完成であったが、施設の利用ができなかった。	条例改正による利用期間の変更をし、新規施設等の利用の促進を検討する。

今後の取り組み方針

指定管理により、備品や、シャワー設備の適切な維持管理を行い、使用頻度を記録し、必要な機器類の調達、効率的・効果的な活用を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,143	15,143	12,114	3,029	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者は指名入札競争により選定し、額において妥当だと考えている。 ○費目・用途については事業目的の達成の観点から必要なのか等について、現場の状況により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	防災備蓄整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	総務部 総務課	事業実施（予定）年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	社会リスクセーフティネットの確立		
事業内容	台風や地震など大規模な自然災害に備え、観光客も含めた非常食等の備蓄品を整備することにより、安心・安全なまちづくりに資する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額		4,063			
		(b) 予算現額		5,551			
		(c) 増減額 (b-a)	0	1,488			
		(d) 繰越額	—	0			
		A. 計 (b+d)	0	5,551			
	B. 執行済額			4,588			
	うち交付金充当額			3,670			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)			82.7%			
予算の状況の説明		・当初、メーカーが販売代理店へ卸す価格で積算を行っていた。また、設計単価には検品に係る人件費・人口増加数分について考慮していなかったため、1,488千円を増額流用した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	備蓄食糧の整備 非常食：13,700食 保存水：3,000本	目標	()	(備蓄数量 非常食：13,700食 保存水：3,000本)	()	()	
		実績		(備蓄数量 非常食：13,700食 保存水：3,000本)			
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	目標どおりの備蓄食糧を整備した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（24年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（29年度）
	備蓄数量 非常食：13,700食 保存水：3,000本	目標	/	()	(備蓄数量 非常食：13,700食 保存水：3,000本)	()	
		実績	(備蓄整備数 非常食：13,488食 保存水：7,680本)	/		(備蓄数量 非常食：13,700食 保存水：3,000本)	
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績	/			
	進捗状況説明	本市における防災備蓄食糧整備率が99.5%に達した。（防災備蓄食糧整備目標値27,333食のうち27,188食を整備した。）					

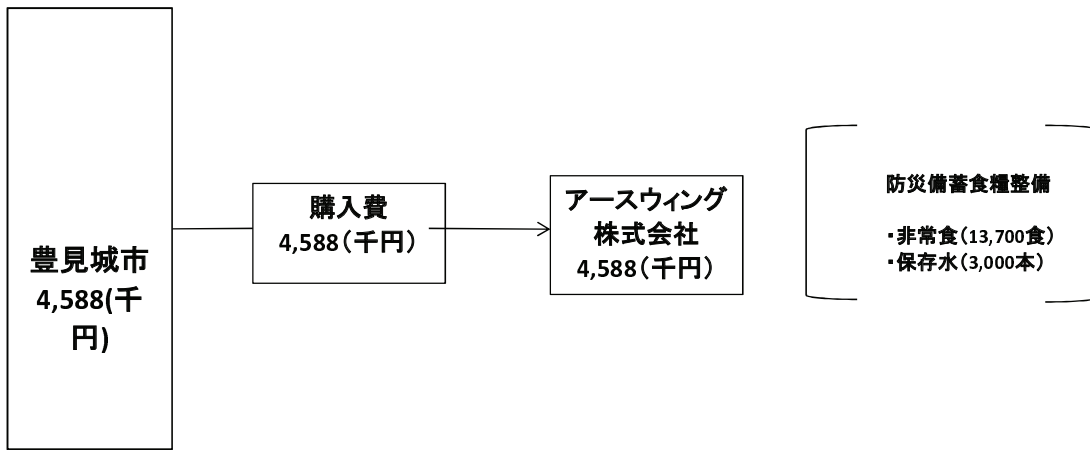
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・当初、本市人口59,790人分(平成25年3月末)の備蓄食糧を整備する予定であったが、平成25年度人口増加数950人分(過去5年平均増加人数)について考慮していなかった。</p>	<p>・本市における人口増加数を見極めながら、備蓄食糧の整備にあたらなければならない。</p>

今後の取り組み方針

今後、本市における人口増加を鑑みて、備蓄整備数100%(人口の20分の1の3日分)の食料の整備率(100%)を維持できるようにする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,588	4,588	3,670	918	



資金の流 れの点 検・費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託業務及び工事請負業者の選定については、本市入札審査会により企業組織、免許、実績を考慮して選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>・費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	那覇空港周辺における航空機騒音測定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-イ		
担当部署名	市民健康部 生活環境課	事業実施（予定）年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自然環境の保全・再生・適正利用		
事業内容	那覇空港周辺地域は航空機騒音があり、騒音測定を行うことにより実態を把握する必要がある。当該地域の任意の3地点において航空機騒音測定を行い、その結果を基に空港と共生するまちづくり等について検討することにより、将来の快適な住民環境の形成を目指す。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		0	4,700			
			1,680	4,700			
			1,680	0			
			—				
			1,680	4,700			
	B. 執行済額		1,680	4,410			
	うち交付金充当額		1,344	3,528			
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%	93.8%			
予算の状況の説明		入札により業者を決定したため、入札執行残により予算との差額が生じている。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	那覇空港周辺における航空機騒音測定の実施	目標	(3地点×2回)	(3地点×2回)	()	()	
		実績	2地点×1回	3地点×2回			
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	那覇空港周辺の航空機騒音の実態を把握するため、平成24年度は年1回（冬季）×2地点を測定を実施。平成25年度は年2回（夏季・冬季）×3地点の測定を実施した。年度によって異なる時期・場所で測定を行い、那覇空港周辺地域の騒音データを得ることができた。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	那覇空港周辺における航空機騒音測定の実施	目標	(0地点×0回)	(3地点×2回)	(3地点×2回)	()	()
		実績		2地点×1回	3地点×2回		
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	航空機騒音測定(3地点×2回)を実施し、那覇空港周辺地域の騒音データを得ることができた。測定結果を公表することにより、空港と共生するまちづくり等について検討が進むことを期待する。また引き続き測定を行っていくことで、より詳細な航空機騒音の実態を把握することができると考える。						

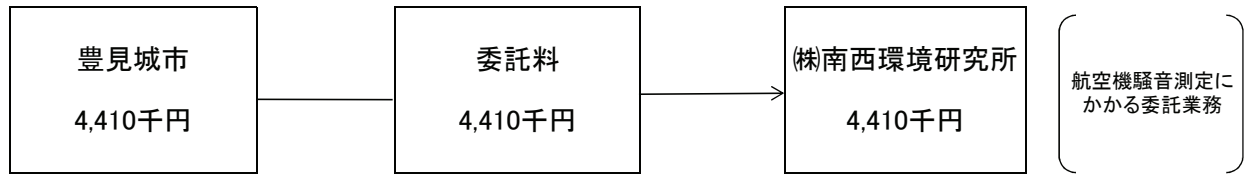
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	空港周辺地域の航空機騒音は、騒音範囲が広範囲に及ぶこと、同じ測定地点でも航空機の離発着経路や風向き等によって測定値が異なる場合がある為、継続して騒音測定を行う必要がある。 今後は平成25年12月に閣議決定された「中期防衛力整備計画(平成26年度～平成30年度)」により、航空自衛隊の那覇空港の利用頻度が増加する見込みのため、航空機騒音の増加も懸念される。	航空自衛隊の部隊改編により、航空機騒音の増加や民間航空機の離発着にも影響が及ぶことが予想される。 今まで測定した結果と比較検証を行うため、騒音測定を継続して実施する必要があると考える。

今後の取り組み方針

平成26年度は那覇空港周辺地域の航空機騒音測定を3地点×2回(夏・冬)を引き続き測定する。また今後増加が予想される航空機騒音については、平成27年度以降に騒音測定局を設置して常時測定を行い、騒音の実態を把握できるよう検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,410	4,410	3,528	882	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は入札により選定しており、妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

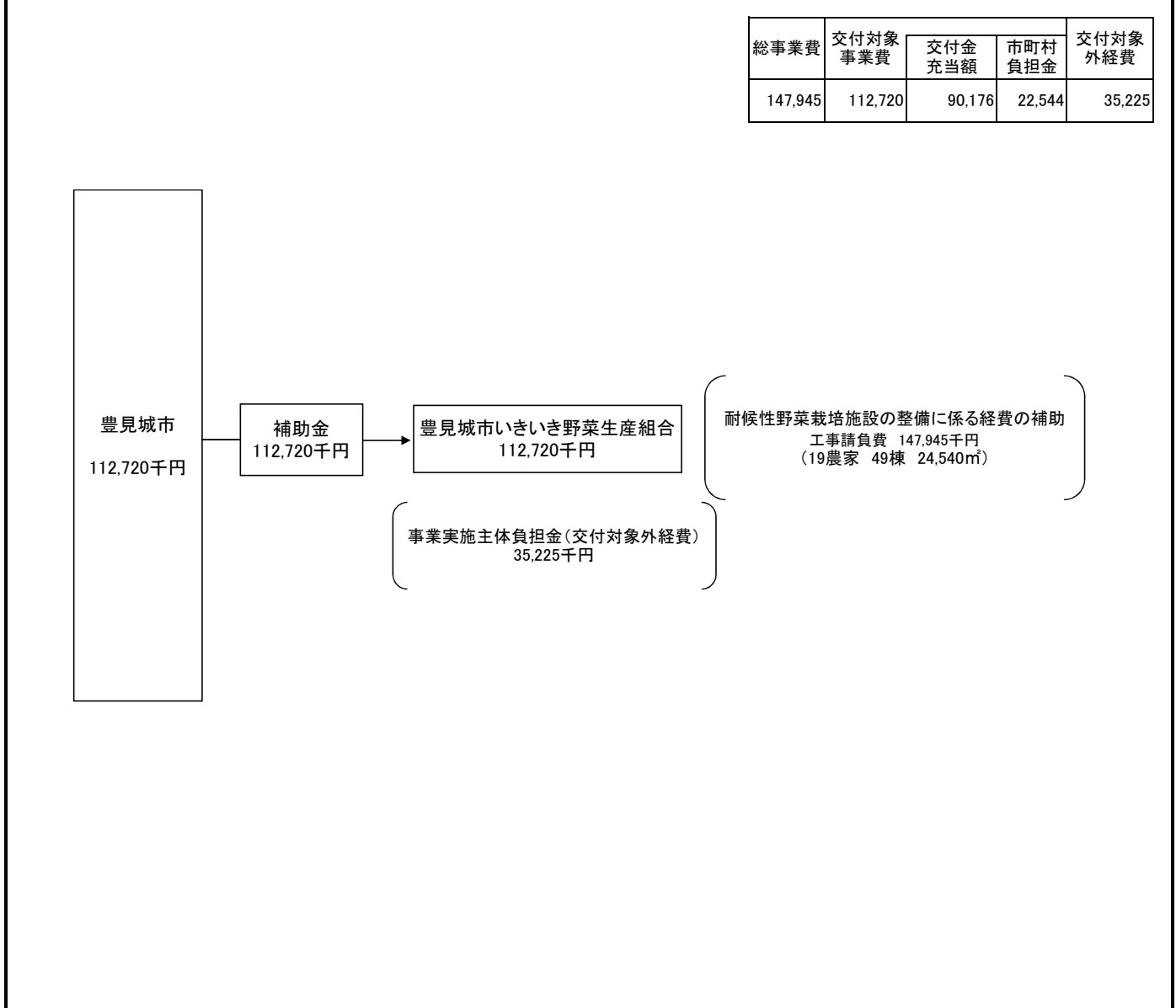
市町村名	豊見城市						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 豊見城市いきいき野菜生産支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部課名	経済建設部 農林水産課	事業実施（予定）年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興		
事業内容	市場や量販店の求める定時・定量・定品質な野菜の安定生産を図るため、生産組合が設置する耐候性野菜栽培施設（パイプハウス）の設置費の一部を補助する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	124,514			
		(b) 予算現額	122,640	112,720			
		(c) 増減額 (b-a)	122,640	▲ 11,794			
		(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		122,640	112,720			
	B. 執行済額		122,639	112,720			
	うち交付金充当額		98,111	90,176			
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		当初予算額と予算現額の差額については、事業実施計画の変更、入札によるものであり、当初計画していた事業内容はほぼ実施し、活動目標、成果目標の達成状況から適正と考えられる。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	耐候性野菜栽培施設の整備	目標	(32,782.5㎡ 91棟、19農家)	(24,540㎡)	()	()	
		実績	32,782.5㎡ 87棟、19農家	24,540㎡			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	耐候性野菜栽培施設（パイプハウス）を、24, 540㎡（49棟・19農家）整備した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	耐候性野菜栽培施設の整備	目標	()	(32,782.5㎡ 91棟19農家)	(24,540㎡)	()	()
		実績	/	32,782.5㎡ 87棟19農家	24,540㎡		/
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績	/				/
	進捗状況説明	強風や長雨等の影響を受けない施設の設置により、生産農家の経営安定を図るための施設整備が整った。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①露地栽培から施設栽培への変更に対応するための、栽培技術等の確立が必要である。 ②事業の目的である安定生産への取り組みが必要である。 ③施設の台風等の自然災害対策が必要である。 ④豊見城産野菜の販路拡大、産地化を図る必要がある。	①、②、③については、第1回事業推進会議(平成25年7月19日)第2回事業推進会議(平成25年8月7日)第3回事業推進会議(平成25年10月17日)第4回事業推進会議(平成25年11月6日)第5回事業推進会議(平成25年11月25日)において、現在野菜の施設栽培を行っている生産農家、JAおきなわ豊見城支店営農指導員による講習会や、沖縄県農業共済組合の職員による園芸施設共済の説明会を実施した。④については、施設栽培による強みを生かし、新たな販路拡大に向けて関係機関と協力し、推進していく。

今後の取り組み方針

事業の目的である、野菜の安定生産や販路拡大、生産農家の経営安定を図るために、平成26年度において事業推進会議を5回程度開催し、事業の目的達成に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	豊見城市いきいき野菜生産組合は、事業実施計画、補助金交付要綱等により適正に事業実施している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	施設の新築工事についても適正な入札を行っている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	事業実施主体の負担については、円滑な事業実施を図る上で妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途は補助金のみであり、事業の目的達成のために補助金は必要である。

市町村名	豊見城市						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-② 豊見城産マンゴー販売促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部署	経済建設部 農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興		
事業内容	県の拠点産地に認定されるなど、高い評価を得ている豊見城産マンゴーのさらなる販売促進を図るため、県内外において試食アンケート等の販売促進活動を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	0	4,731				
	(b) 予算現額	4,399	2,945				
	(c) 増減額 (b-a)	4,399	▲ 1,786				
	(d) 繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	4,399	2,945				
	B. 執行済額	4,396	2,943				
	うち交付金充当額	3,517	2,354				
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	99.9%	99.9%				
予算の状況の説明	当初予算額と予算現額の差額は、当初計画していた県外販売促進活動が生産農家の繁忙期と重なり、3回から1回へ減少した等の理由である。計画していた事業内容はほぼ実施しており活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	豊見城産マンゴー販売促進活動回数6回 (県内3回、県外3回)	目標	(6回)	(6回)	()	()	
		実績	6回	県内5回 県外1回			
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	①マンゴーの里宣言4周年記念祭 ②マンゴーフェスタ ③マンゴーの里まつり ④和歌山県JA紀の里めっけもん広場における販売促進活動 ⑤観光月間オープニングイベント(那覇空港)における販売促進活動 ⑥サンエーウイングセンターにおける販売促進活動を実施し、試食アンケートについては、459名からアンケート回収ができた。豊見城産マンゴーイメージキャラクターアゴマゴちゃんや販売促進用品を活用し、効果的な販売促進活動が行えた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	
	豊見城産マンゴー販売促進活動回数6回 (県内3回、県外3回)	目標	()	(6回)	(6回)	()	()
		実績		6回	県内5回 県外1回		
【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	販売促進活動の実施により、県内外で広く豊見城産マンゴーのPRができた。豊見城産マンゴー県外出荷量の推移はH24目標が212tのところ、実績146t。H25目標が123tのところ、実績150t。						

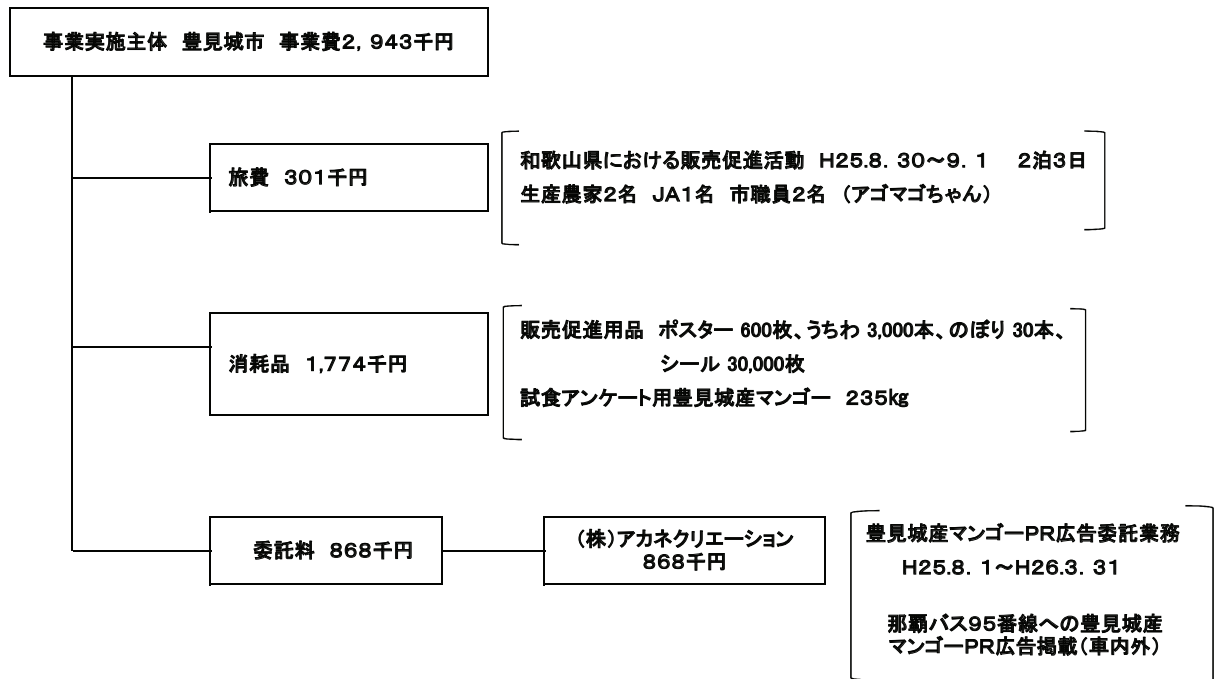
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①販売促進活動の試食アンケートの結果で寄せられた、消費者や市場からの豊見城産マンゴーに対する様々な声を、今後の販売促進事業の推進に役立てる必要がある。 ②県外の販売促進活動を、より効果的な店舗等で行う必要がある。 ③観光客向けのPRに取り組む必要がある。 ④豊見城産マンゴーの全体的な生産量の回復に取り組む必要がある。	①試食アンケートで寄せられた意見をJA豊見城支店やJA豊見城支店マンゴー共選部会と協力し、対策に取り組む。 ②県外の販売促進活動をより効果的に行える店舗を選定する。 ③観光客がお土産を購入する店舗で豊見城産マンゴーをPRする。 ④関係機関と協力し、豊見城産マンゴーの生産量の回復に取り組む。

今後の取り組み方針

より効果的な豊見城産マンゴー販売促進事業を実施するために、豊見城産マンゴーイメージキャラクターアゴマゴちゃんを様々なイベント等で活用する。JA共選による高品質な豊見城産マンゴーをPRする。那覇バス95番線へのPR広告を継続して行う。豊見城産マンゴー県外出荷量H26目標は214t、H27目標は215t。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,943	2,943	2,354	589	



資金の 用途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	豊見城市契約規則等により支出先は適正に選定している。豊見城産マンゴーをより効果的にPRするための適正な予算規模になっている。効果的な豊見城産マンゴー販売促進事業の実施にあたり真に必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	預かり保育事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ
担当部課名	学校教育部学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	子育てセーフティネットの充実
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-4

事業内容
 低所得県であるため、ひとり親世帯や共働き世帯が多いことから、当該世帯の園児を午後または、長期休暇時に市立幼稚園全7園で預かることで、子育て支援を行った。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	18,640	20,666			
	(b) 予算現額	20,284	13,319			
	(c) 増減額 (b-a)	1,644	▲ 7,347			
	(d) 繰越額	—	—			
	A. 計 (b+d)	20,284	13,319			
	B. 執行済額	19,042	13,319			
	うち交付金充当額	5,609	10,655			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率 (%) (B/A)	93.9%	100.0%			
	予算の状況の説明	事業計画通りに執行。予算の減額については、人件費における執行残。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		預かり保育担当教諭配置人数	目標	(21人)	(21人)	()
	実績	21人	21人			
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	ひとり親世帯や共働き世帯等で午後の保育に欠ける世帯からの申請438件を受け入れるため、各幼稚園に合計21人の預かり保育担当教諭を配置した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	預かり保育した園児数	目標	(323人)	(400人)	(400人)	()	(100%)
		実績		405人	438人		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	ひとり親世帯や共働き世帯等で午後の保育に欠ける世帯からの申請438件を受け入れ、預かり保育要望世帯に対する保育実施率を100%とした。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	保護者の就労形態の多様化や大型マンションの建築など社会環境の変化とともに核家族の進行や共働き世帯の増加で、近隣の人間関係も希薄になり、気軽に子どもを預けられるところがない等の理由から今後も預かり保育を必要とする園児は増加するものと思われる。	今後申請数の増加に応じ、教員の確保・増員を図る必要があると同時に充実した保育内容の向上を図る必要がある。
	今後の取り組み方針	
引き続き、申請のある全園児の受入ができるような人員配置に併せ、幼稚園免許保持者・保育士免許保持者を採用していく。また、幼稚園教育の充実のため担当教諭の資質向上を目的とした研修を開催する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	39,329	13,319	10,655	2,664	26,010
<pre> graph LR A[豊見城市 13,319千円] -- 共済費 1,657千円 --> B[那覇年金事務所 1,657千円] A -- 賃金 11,662千円 --> C[臨時職員 11,662千円] A --> D[預かり保育料充当分 (交付対象外経費) 3,236千円] A --> E[預かり保育料充当分 (交付対象外経費) 22,774千円] B --- F(預かり保育担当臨時職員共済費) C --- G(預かり保育担当臨時職員賃金) </pre>					

資金の 用途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○預かり保育担当教諭の採用については、面接を行い採用している。 ○費目・用途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-② 認可外保育園環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ		
	担当部課名	福祉部 児童家庭課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子育てセーフティネットの充実 Ⅲ-4	
事業内容	子育て世代の人口増に伴い、待機児童数の増加が課題になっていることから、待機児童解消の一翼を担っている認可外保育園の施設整備(修繕等)を図ることで、児童の保育環境向上に寄与する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	25,650	—	18,050		
		(b) 予算現額	20,000	—	1,900		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 5,650	—	▲ 16,150		
		(d) 繰越額	—	20,000	—		
		A. 計 (b+d)	20,000	20,000	1,900		
	B. 執行済額		0	15,695	1,900		
	うち交付金充当額		0	12,556	1,520		
	次年度繰越額		20,000	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		0.0%	78.5%	100.0%		
予算の状況の説明		当初予定していた実施園が3施設から1施設に減少したため、当初予算から補助金を16,150千円を減額補正した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	認可外保育施設改修費補助:3施設 (認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書発行保育園 1施設) (認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書未発行保育園 2施設)	目標	(12園)	(3園)	()	()	
		実績	7園	1園			
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	事業実施予定であった3施設のうち2施設が、建設業における人手不足の影響により、見積作成や事業を請け負う業者を決定できなかったため、事業を取り下げた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	認可外保育施設改修費補助:3施設	目標	(—)	(12園)	(3園)	()	()
		実績		7園	1園		
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	児童保育環境の向上を図るとともに、「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」の発行を目指す認可外保育園の増を図った。平成25年度中に新たに証明書の発行を受けた認可外保育園は無かったが、今後、実施される認可外保育施設への沖縄県の立ち入り調査で指導監督基準を満たし、証明書の発行を受けられるよう認可外保育施設の支援を行う。						

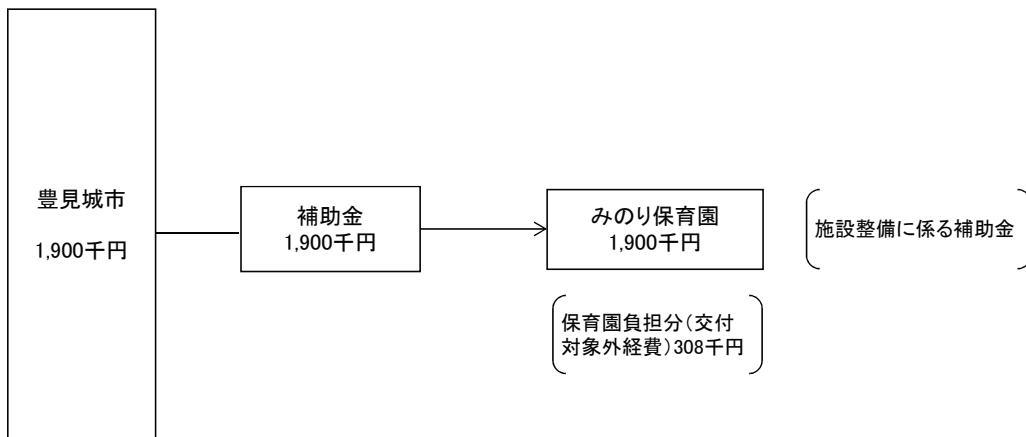
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	建設業等での人手不足の影響により、見積作成や事業を請け負う業者がないため、事業が執行できない状況にあり、改善を求める要望があった。平成25年度中に新たに証明書の発行を受けた認可外保育園は無かったが、今後も、「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」の発行を目指す認可外保育園の増を図る。	今後は、関係者との調整を円滑に進め、事業を早急に進めるとともに、保育環境の改善について早急に検討を行う。

今後の取り組み方針

今後は、事業を引き続き実施していくとともに、認可外保育園に周知することにより、事業導入保育園に見積依頼業者を確保し、調整を行い、円滑に事業を実施していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,208	1,900	1,520	380	308



資金の流 れ、費 目 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金交付決定者は、事業内容等を精査した上で決定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○補助金の使途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について申請時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助は交付要綱に沿って行っており、補助金支給額及び受益者との負担関係並びに事業目的における費目・使途は適正と考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-①	学力向上サポート事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-7
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容
 児童生徒の学力向上のために児童生徒1人ひとりにきめ細かな自立支援、学習支援を行うため、豊見城市立小中学校に学力向上推進補助員を配置し、授業にあたる教師と連携しながら教育環境の充実を図った。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	5,380	27,183			
	(b) 予算現額	13,305	27,183			
	(c) 増減額 (b-a)	7,925	0			
	(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	13,305	27,183			
	B. 執行済額	12,790	25,286			
	うち交付金充当額	10,231	20,228			
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	96.1%	93.0%			
	予算の状況の説明	補助員2人を4月当初から配置できなかったことにより、不用額が1,897千円生じた。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		学力向上推進補助員配置人数 小学校8人、中学校3人	目標 (11人)	(11人)	()
	実績	11人	11人		
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	児童生徒の学力向上のために、豊見城市立全小中学校に学力向上推進補助員を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら、児童生徒に対し、1人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うことで、教育環境の充実を図れた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	H24:学力向上推進補助員配置人数 小学校8人、中学校3人 H25:学力調査における県平均との差の改善	目標	(H24:6人 H25:+0.05)	(11人)	(+0.8点)	()	()
		実績		11人	-0.27点		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	児童生徒の学力向上のために、豊見城市立全小中学校に学力向上推進補助員を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら、児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図った。しかしながら、県到達度調査における全教科の平均点において、県平均との差の改善には至っておらず、今後も継続して支援を行う必要がある。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業は、昨年に続き学力向上推進補助員を各学校へ配置、教育環境の充実を図ってきたが、今回の県到達度テストにおいて、県平均との差の改善にはいたらなかった。	県平均との差が開いたことに関して、教科担任等との調整を十分におこなう改善の取組を行う。 また、継続配置されている補助員に関しては、児童生徒との関係が既に構築されているため、スムーズに学習に入ることができると考えているが、臨時的任用であるため、今後の人材確保に努める必要がある。
今後の取り組み方針		
各学校において、補助員との連携、活用について計画を行うとともに、補助員のスキルアップのために、継続的な研修を行うこととする。 また、県到達度テストにおける県平均を上回ることを目標に、次年度以降についても同事業の継続実施を行いたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
25,286	25,286	20,228	5,058	
<pre> graph LR A[豊見城市 25,286千円] --> B[共済費 3,262千円] A --> C[賃金 22,024千円] B --> D[那覇年金事務所 3,262千円] C --> E[臨時職員 22,024千円] D --- F[学力向上推進補助員共済費] E --- G[学力向上推進補助員賃金] </pre>				

資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学力向上推進補助員の採用については、面接を行い採用している。 ○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-②	情報教育補助員派遣事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-7
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 Ⅲ-3-(1)

事業内容
 情報教育補助員を各小中学校へ巡回派遣し、PC教室、電子黒板を活用し授業を行う教員の支援や児童生徒へ直接支援することで、教員や子どもたちの情報リテラシーの向上を図った。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	982	5,902			
	(b) 予算現額	1,928	4,664			
	(c) 増減額 (b-a)	946	▲ 1,238			
	(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	1,928	4,664			
	B. 執行済額	1,892	4,259			
	うち交付金充当額	1,512	3,407			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率 (%) (B/A)	98.1%	91.3%			
	予算の状況の説明	補助員2人の途中退職が生じ、後任の補助員をすぐに配置できなかったため、1,238千円の減額補正を行った。また、不用額が405千円生じているが、執行残によるものであり、達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		情報教育補助員の配置人数	目標 (2人)	(3人)	()
	実績	2人	3人		
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	情報教育補助員を各小中学校へ巡回派遣し、PC教室、電子黒板を活用し授業を行う教員の支援や児童生徒へ直接支援することで、教員や子どもたちのリテラシーの向上が図れた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	H24:情報教育補助員の配置人数 H25:ICT機器等活用率(操作・理解)	目標	()	(2人)	(小学校:80% 中学校:50%)	()	()
		実績		2人	小学校:84.6% 中学校:49.56%		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	情報教育補助員を各小中学校へ巡回派遣し、PC教室、電子黒板を活用し授業を行う教員の支援や児童生徒へ直接支援することで、教員や子どもたちのリテラシーの向上が図れた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>今年度より、PC教室に加え、電子黒板、デジタル教科書の整備が行われたことにより、情報教育補助員の業務量が増加した。そのため、知識が追いつかない部分が生じている。</p>	<p>情報教育補助員に対して、PC教室の操作研修だけではなく、電子黒板、デジタル教科書の活用についても研修を行い、資質の向上に努めたい。また、補助員のみでなく、教員に対しても同様の研修を開催できるよう取り組む必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>引き続き情報教育補助員を派遣し、児童生徒及び教員の補助を行うことで、より良い学習環境の整備に努める。また、操作研修等を実施し、資質向上に努める。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	4,259	4,259	3,407	852	
<pre> graph LR A[豊見城市 4,259千円] --> B[共済費 528千円] A --> C[賃金 3,731千円] B --> D[那覇年金事務所 528千円] C --> E[臨時職員 3,731千円] D --- F(情報教育補助員共済費) E --- G(情報教育補助員賃金) </pre>					

資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○情報教育補助員の採用については、面接を行い採用している。 ○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-③	適応指導教室学習支援員配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-7
----------	-----	-----------------	--------------------	-------------

担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)
-------	-------	------------	-----------	--------------	---------

事業内容
 適応指導教室に支援員を配置し、心因的不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援を行い、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、引きこもり解消や学校復帰を支援した。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	2,466	4,943			
	(b) 予算現額	2,421	4,943			
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 45	0			
	(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	2,421	4,943			
	B. 執行済額	2,367	4,637			
	うち交付金充当額	1,893	3,709			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率 (%) (B/A)	97.8%	93.8%			
	予算の状況の説明	不用額が306千円生じているが、執行残によるものであり、達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		適応指導教室学習支援補助員の配置人数	目標 (2人)	(2人)	()
	実績	2人	2人		
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	学習支援補助員を2人配置したことにより、不登校児童生徒を小中学校別にきめ細かく指導・支援できた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	H24:適応指導教室学習支援補助員の配置人数	目標	()	(2人)	(100%)	()
	H25:適応指導教室学習支援補助員配置率	実績		2人	100%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
	実績					

進捗状況説明
 学習支援補助員を2名配置することにより、不登校児童生徒を小中学校別にきめ細かく指導・支援できた。また、改善が見られチャレンジ登校など何らかの形で登校できた生徒が多かった。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	不登校児童生徒の支援を行うことで、チャレンジ登校など何らかの形で登校できた児童生徒はいたが、学校復帰には至っていない。	平成25年度においては、対象児童生徒の学校への復帰にはいたらなかった。しかし、チャレンジ登校を行うことができる児童生徒もいるため、学校側との連携(情報交換)を細かく行い、本登校へつなげる。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続的に、補助員を配置することにより、児童生徒を見守りながら、支援を行う。 最終的な目標は学校復帰であるため、母体校の教員と意見交換を密に行い、環境整備を行う。 保護者へのサポート等についても、段階的に実施する。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	4,637	4,637	3,709	928	
<pre> graph LR A[豊見城市 4,637千円] --> B[共済費 595千円] A --> C[賃金 4,042千円] B --> D[那覇年金事務所 595千円] C --> E[臨時職員 4,042千円] D --- F[適応指導教室 学習支援補助員共済費] E --- G[適応指導教室 学習支援補助員賃金] </pre>					

資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学習支援補助員の採用については、面接を行い採用している。 ○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○			

市町村名	豊見城市
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-④	自立支援教育指導員配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-7
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～28年度	沖繩振興基本方針該当箇所
				自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 Ⅲ-3-(1)

事業内容
遊び非行型不登校生徒等の学校復帰及び社会的自立を支援するため、指導員を配置し相談活動や学習支援を行うほか、地域や関係機関と連携し職場体験活動等を行うことにより学校復帰を支援した。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額		7,414			
	(b) 予算現額		7,414			
	(c) 増減額 (b-a)	0	0			
	(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	0	7,414			
	B. 執行済額		6,988			
	うち交付金充当額		5,590			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率 (%) (B/A)		94.3%			
	予算の状況の説明	不用額が426千円生じているが、執行残によるものであり、達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		自立支援教室指導員の配置人数 中学校:3人	目標	()	(3人)	()
	実績		3人			
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	自立支援教室指導員3人の雇用を行い、遊び非行型不登校生徒等の学校復帰支援を行った。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	市立中学校への自立支援教育指導員配置率	目標	()	()	(100%)	()	()
		実績			100%		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	中学校へ自立支援教室支援員を3人配置(100%)することにより、不登校児童生徒を中学校別にきめ細かく指導・支援で、一時的な登校につなげることができた。						

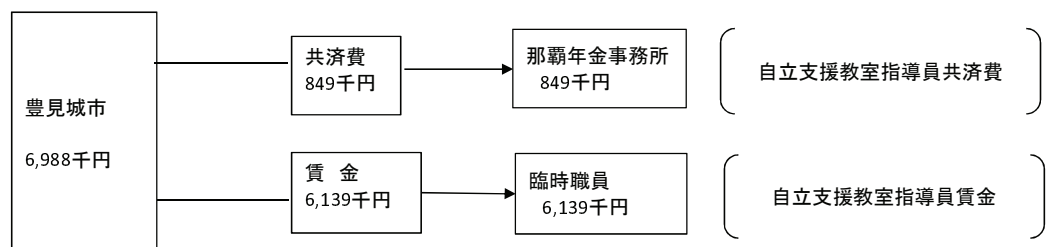
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	遊び非行型不登校生徒に支援を行うことにより、一時的な登校等に繋がることがあるが、学校復帰に至ってはいない。	指導員が生徒へ関わることにより、少しずつであるが、登校するという意識が出てきているので、継続的に、生徒に関わる時間を持つ必要がある。また、指導員のみでなく、多くの教諭と指導を行うためにも、これまで以上の情報交換を行うこととしたい。

今後の取り組み方針

引き続き、自立支援教育指導員を配置し、遊び非行型不登校生徒等の学校復帰及び社会的自立を支援する。また、研修等を重ねることにより、指導員の資質の向上を図ることとしたい。さらには、地域の方々との連携が構築できるように取り組みたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
6,988	6,988	5,590	1,398	



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○自立支援教育指導員の採用については、面接を行い採用している。 ○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-⑤	登校支援員配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-7
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～28年度	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容
 登校支援員を小学校へ巡回配置し、不登校や不登校傾向にある児童及びその対応に悩みを持つ保護者に対する適切な指導や相談を充実させることで学校復帰に向けた支援を行った。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額		2,790			
	(b) 予算現額		2,651			
	(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 139			
	(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	0	2,651			
	B. 執行済額		2,638			
	うち交付金充当額		2,110			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率 (%) (B/A)		99.5%			
	予算の状況の説明	執行残の見込みにより、139千円の減額補正を行ったが、達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		登校支援員の配置人数	目標	()	(4人)	()
		実績		4人		
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明	登校支援員4人の雇用を行い、登校支援を行った。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			市内小学校への登校支援員派遣率	目標	()	()	(100%)
		実績			100%		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	登校支援員を4人配置することにより、不登校等児童の登校支援を行うとともに、登校しぶりや不登校児童・保護者のサポートを行った。						

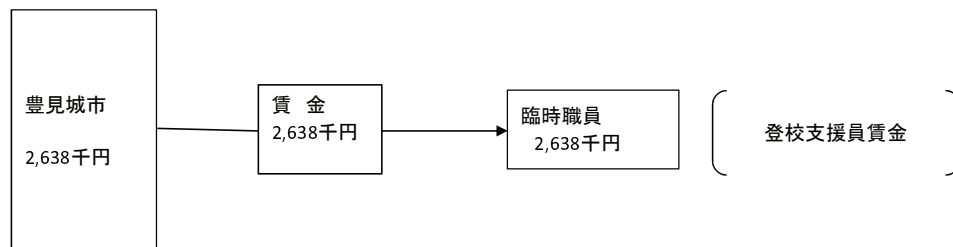
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>登校支援員の配置により、不登校気味の児童の居場所づくりを行うことができ、登校支援に寄与することができている。しかし、継続的な登校に繋がっていない児童もあり、一進一退の状況もある。児童の様子等を考慮しながら、支援を行う必要がある。</p>	<p>今年度、4人の支援員において68人の児童のサポートを主に行ってきたが、一時的な対応を行った児童も多々いる。今後については、学級担任をはじめ、養護教諭、民生委員とも連携を図ることにより、早い段階での状況改善を行っていく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

今後も4人の登校支援員を継続的に小学校へ巡回配置し、児童が学校復帰、学級復帰ができるよう、継続的なサポートを行う。また、学級担任をはじめ、養護教諭、民生委員とも連携構築を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,638	2,638	2,110	528	



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○登校支援員の採用については、面接を行い採用している。 ○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-⑥	パソコン教室整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-7
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～28年度	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容
 将来の情報化社会に対応する人材育成のため、パソコン教室に新たな機器を購入することにより、情報教育の質の向上を図った。

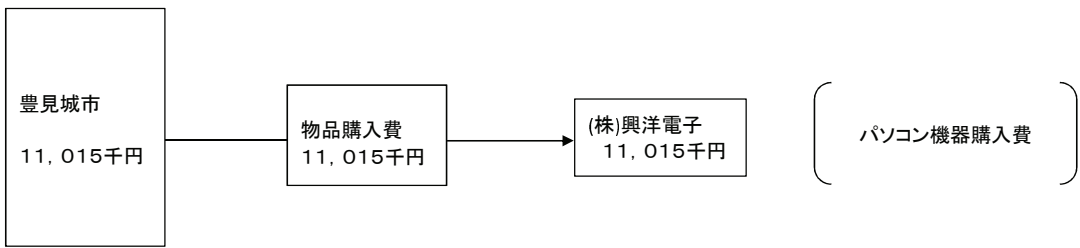
実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額		11,125			
	(b) 予算現額		11,125			
	(c) 増減額 (b-a)	0	0			
	(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	0	11,125			
	B. 執行済額		11,015			
	うち交付金充当額		8,812			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率 (%) (B/A)		99.0%			
	予算の状況の説明	入札により、事業計画通り適正に執行。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		パソコン教室パソコン整備台数	目標	()	(42台)	()
		実績		42台		
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明	将来の情報化社会に対応する人材育成のため、パソコン教室に新たな機器を購入(42台)することにより、情報教育の質の向上が図れた。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		パソコン教室パソコン整備台数	目標	()	(42台)	()
		実績		42台		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	将来の情報化社会に対応する人材育成のため、パソコン教室に新たな機器を購入(42台)することにより、情報教育の質の向上が図れ、今後についても、同様の目的達成のため、順次整備を行うこととする。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>これまでの機器でできなかった機能を新たな機器の導入により行うことができるようになっており、生徒の学習環境を整備することができた。今後、この機能を十分に活用できるような講習会等を実施する必要がある。</p>	<p>機器活用について、講習等を実施。</p>
今後の取り組み方針		
<p>新たに導入した機器の機能を十分に活用できるような講習会等を実施する。 整備した機器を活用した授業等の推進を図るとともに、情報教育補助員の活用を図る。 また、児童生徒の機器操作等の活用率が向上するように努める。 今後については、PCの耐用年数5年を越える学校を対象に、計画的に更新を行っていく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,015</td> <td>11,015</td> <td>8,812</td> <td>2,203</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,015	11,015	8,812	2,203		 <pre> graph LR A[豊見城市 11,015千円] --> B[物品購入費 11,015千円] B --> C["(株)興洋電子 11,015千円"] C --- D[パソコン機器購入費] </pre>		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,015	11,015	8,812	2,203											

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先の選定については、指名競争入札で行い、適正規模の執行ができています。 ○費目・使途については、事業目的達成のため必要である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-⑦	電子黒板整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-7
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
				Ⅲ-3-(1)

事業内容
 将来の情報化社会に対応する人材育成のため、各小中学校普通学級に電子黒板を整備し、わかりやすい授業をおこなう事で児童生徒の関心を向上させ、学習の向上を図った。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額		246,400			
	(b) 予算現額		222,201			
	(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 24,199			
	(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	0	222,201			
	B. 執行済額		222,201			
	うち交付金充当額		177,760			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率 (%) (B/A)		100.0%			
	予算の状況の説明	入札により、適正に執行。予算減額分は、入札残。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		電子黒板の整備	目標	()	(電子黒板の整備)	()
		実績		電子黒板の整備		
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明	市立各小中学校普通教室および特別学級へ整備を行った。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	小中学校全教室に電子黒板の整備	目標	()	()	(228台)	()	()
		実績			228台		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	市立各小中学校普通教室および特別学級へ整備を行い、授業での活用が図られた。						

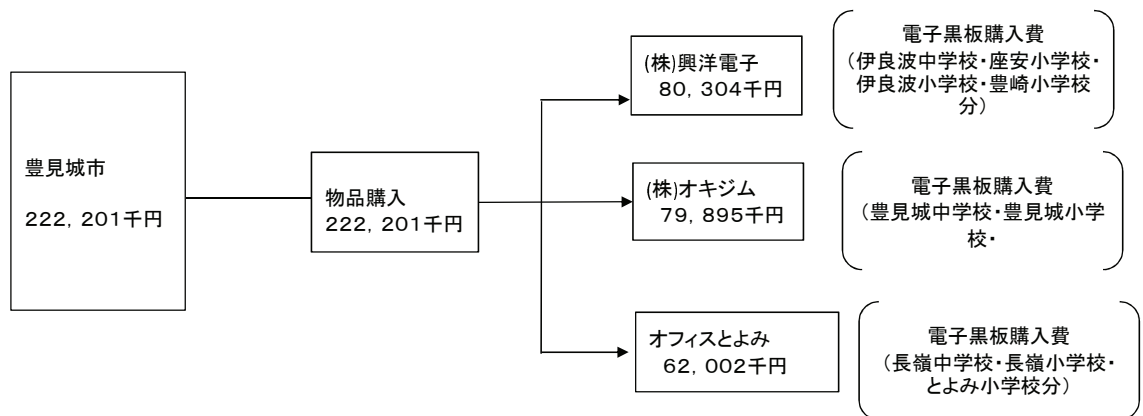
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	電子黒板の配置により、わかりやすい授業が行われているが、さらに電子黒板を活用した授業が求められる。 また、普通教室のみでなく、特別教室にも電子黒板を配置することにより、授業に対する興味関心を抱かすことが求められる。	教材研究とともに、電子黒板を活用した授業内容になるように検討を行う。 普通教室に加え、特別教室に電子黒板を配置することにより、児童生徒の興味関心を引くことができ、基礎学力の向上、維持に繋がると考える。

今後の取り組み方針

整備した機器を活用した授業等の推進を図るため、使用講習会等を実施する。また、情報教育補助員の活用も行う。
さらに、特別教室に配置することにより、全ての教科において、児童生徒の興味関心を引くことで、学力の重要な3つの要素を育成する①基礎的な知識・技能をしっかり身につけさせる、②基礎・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育ませる、③学習に取り組む意欲を養うことができると考える

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
222,201	222,201	177,760	44,441	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、指名競争入札で行い、適正規模の執行ができています。 ○費目・使途については、事業目的達成のため必要である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-⑧	デジタル教科書整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-7
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖繩振興基本方針該当箇所
				自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 Ⅲ-3-(1)

事業内容
 将来の情報化社会に対応する人材育成のため、各小中学校の電子黒板にデジタル教科書を整備し、わかりやすい授業をおこなうことで児童生徒の関心を向上させ、学力の向上を図った。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額		8,575			
	(b) 予算現額		9,785			
	(c) 増減額 (b-a)	0	1,210			
	(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	0	9,785			
	B. 執行済額		9,652			
	うち交付金充当額		7,721			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率 (%) (B/A)		98.6%			
	予算の状況の説明	入札により、適正に執行。予算減額分は、入札残。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		教育用ソフトの導入	目標 () (100%) () ()	実績 100%	
	目標 () () () ()	実績			
達成状況説明	市立各小中学校普通教室および特別学級へ整備を行った。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		教育用ソフトの導入学校数 小学校7校、中学校3校	目標 () () (10校) () ()	実績	10校	
	【参考指標】	目標 () () () () ()	実績			
	進捗状況説明	市立各小中学校普通教室および特別学級へ整備を行い、電子黒板を通じた活用で、児童生徒の関心を向上させることができた。				

市町村名		豊見城市											
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】													
事業番号・事業名	5-⑨		外国人英語講師配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-7							
	担当部課名	学校教育課		事業実施(予定)年度	平成25～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築						
事業内容		外国人講師を配置し、児童生徒の国際化社会に必要な外国人との実践的なコミュニケーション能力の基礎を養った。原則的に、3名を3中学校、1名を小学校へ配置。小中学校における外国語授業の補助を行った。											
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）											
予算額・執行額【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度			
		(a) 当初予算額			15,822								
	(b) 予算現額			14,014									
	(c) 増減額(b-a)		0	▲ 1,808									
	(d) 繰越額		—										
	A. 計(b+d)			0	14,014								
	B. 執行済額				14,013								
	うち交付金充当額				11,210								
	次年度繰越額			0	0								
	執行率(%) (B/A)				100.0%								
予算の状況の説明		英語講師1人が途中退職し、すぐに後任講師を配置できなかったことにより、1,808千円の減額補正を行った。											
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況										
				24年度	25年度	26年度	27年度						
	外国人英語講師の配置数		目標	()	(4人)	()	()						
			実績		4人								
			目標	()	()	()	()						
			実績										
達成状況説明	外国人英語講師を4人雇用し、市内小中学校に配置した。												
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)						
	市内小中学校への外国人英語講師配置率		目標	()	()	(100%)	()	()					
			実績			100%							
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	()					
			実績										
	進捗状況説明	外国人英語講師を4人雇用し、小中学校での外国人との実践的なコミュニケーション能力の基礎を養った。											

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	児童生徒の実践的なコミュニケーション能力の基礎を養うこととしているが、興味がある児童生徒に対しての取り組みが必要。	チーム・ティーチングを行う英語科教諭と連携を密にし、児童生徒の興味関心を引き出す。
今後の取り組み方針		
外国人英語講師を継続的に配置し、児童生徒の実践的なコミュニケーション能力を養うことにより、積極的な取り組みができるような授業等を検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	14,013	14,013	11,210	2,803	
<pre> graph LR A[豊見城市 14,013千円] --> B[共済費 1,698千円] A --> C[報酬 12,315千円] B --> D[那覇年金事務所 1,698千円] C --> E[嘱託職員 12,315千円] D --- F[外国人英語講師共済費] E --- G[外国人英語講師報酬] </pre>					

資金の流 点検 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流 点検 費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外国人英語講師の採用については、面接を行い採用しているため、妥当である。 ○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑩	小学校英語活動講師派遣事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-7		
担当部課名	学校教育部学校教育課	事業実施（予定）年度	平成25～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	小学校からの長期的な英語指導により、児童の実践的なコミュニケーション能力の向上を図り、国際化社会に対応できる人材育成を行った。 高学年においては、外国語活動を優先して授業に参加し、中学年以下については、総合的な学習の時間を活用し、国際理解と関連づける授業を行った。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額		7,086				
	(b) 予算現額		7,087				
	(c) 増減額 (b-a)	0	1				
	(d) 繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	0	7,087				
	B. 執行済額		7,087				
	うち交付金充当額		5,669				
	次年度繰越額	0	0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明	小学校へ英語指導講師を派遣。事業計画とおりに執行。 7人の英語指導講師で、市内7小学校において2,547時間の授業を行った。						
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	英語指導講師派遣校数	目標	()	(7校)	()	()	
		実績		7校			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	市立小学校7校へ英語指導講師を派遣した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）	基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
		目標	()	()	(100%)	()	()
	市内小中学校への英語講師派遣率	実績			100%		
		【参考指標】	目標	()	()	()	()
		実績					
		進捗状況説明	市立小学校7校へ英語指導講師を派遣し、児童の実践的なコミュニケーション能力の向上を図った				

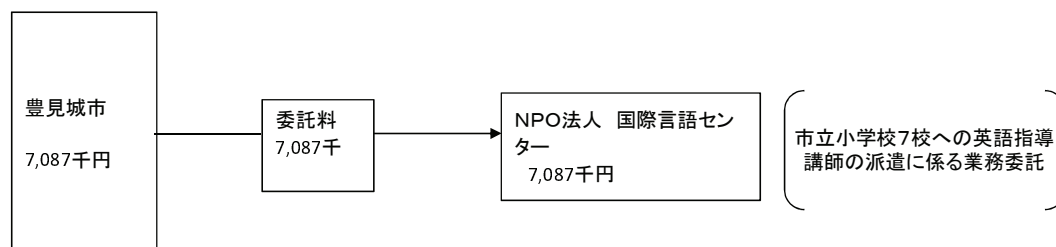
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>小学校から国際理解教育の充実を図り、コミュニケーションの手段として外国語を用いる楽しさを感じる必要があるが、外国語を使ってコミュニケーションを行う場面が多くはない。そのため、小学校の学年等に応じたコミュニケーションの行い方等を工夫する必要がある。</p>	<p>児童が興味をもつ、プログラム等を検討する。 学級担任等と授業内容について創意工夫を行い、児童が外国語に対して興味を持ち授業に参加できる仕組みを作る。</p>

今後の取り組み方針

英語活動講師の派遣を継続的に行い、児童の実践的なコミュニケーション能力を養うことにより、積極的な取り組みができるような授業等を検討する。また、スムーズに中学校の英語授業に対応できる環境の構築を行いたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
7,087	7,087	5,669	1,418	

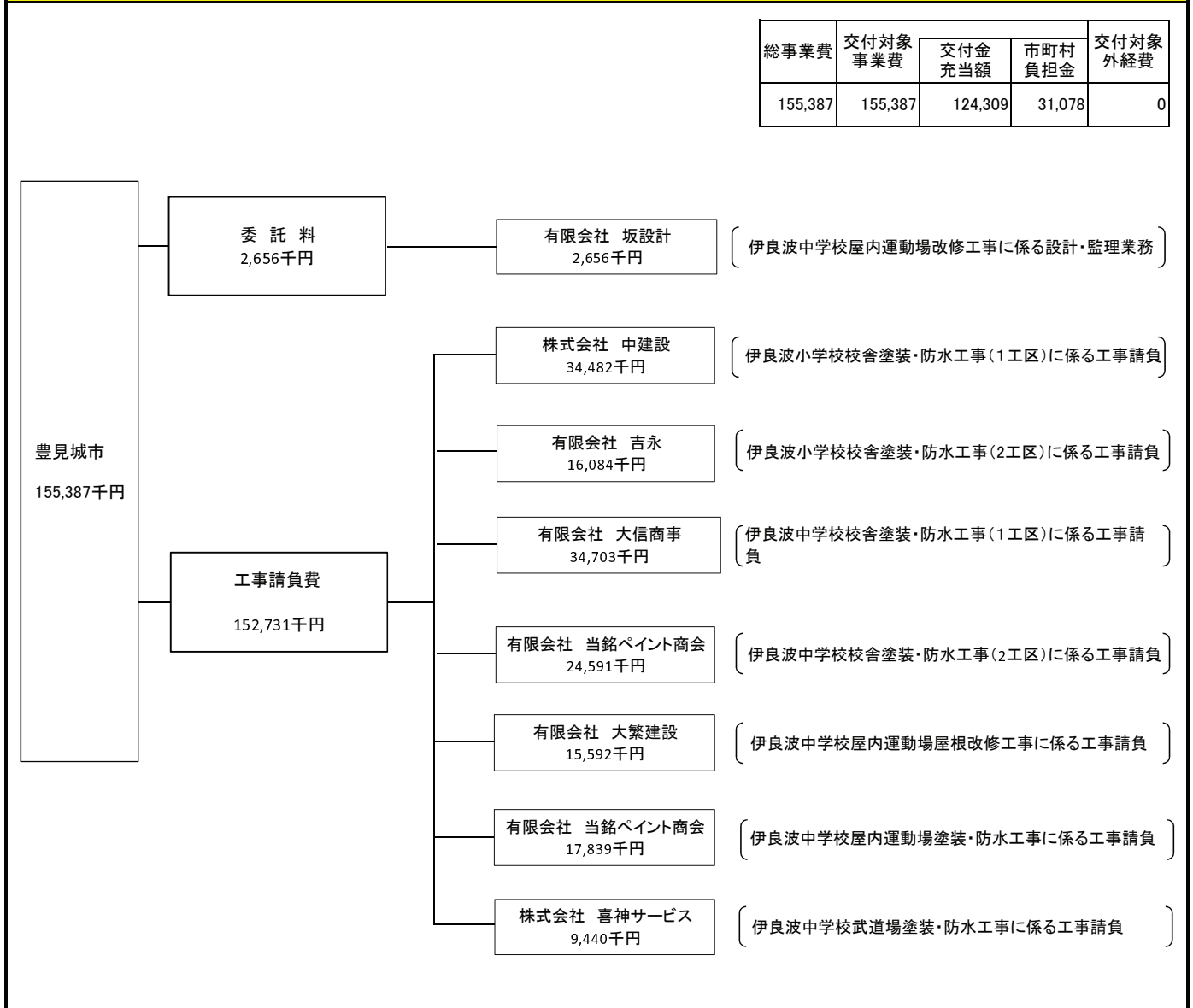


資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○日本人英語教師を多人数(7人)派遣することが可能である事業者と随契を行った。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	幼小中学校長寿命化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ	
担当部課名	学校教育部学校施設課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	沖縄特有の潮風による塩害や紫外線、度重なる台風の影響により劣化した校舎屋根や壁面等を改修することにより、安全・安心を確保し校舎の断熱など機能を向上させるとともに長寿命化を図り、学習環境の向上を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	126,558	0	215,237		
		(b) 予算現額	126,558	0	206,330		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 8,907		
		(d) 繰越額	—	99,358	0		
		A. 計 (b+d)	126,558	99,358	206,330		
	B. 執行済額		27,200	62,108	155,387		
	うち交付金充当額		21,759	49,686	124,309		
	次年度繰越額		99,358	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		21.5%	62.5%	75.3%		
予算の状況の説明		入札残が生じたため、減額補正を行った。不用額が50,943千円生じているが、達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	長寿命化等の安全対策を実施した校舎数 小学校：2校(とよみ小校舎・伊良波小校舎・体育館) 中学校：1校 (伊良波中学校・体育館)	目標	(幼稚園:3校 小学校:1校)	(小学校：2校 中学校：1校)	()	()	
		実績	幼稚園:3校 小学校:1校	小学校：1校 中学校：1校			
			目標	()	()	()	()
		実績					
達成状況説明	幼小中学校長寿命化事業を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	長寿命化等の安全対策を実施した校舎数 小学校：2校(とよみ小校舎・伊良波小校舎・体育館) 中学校：1校 (伊良波中学校・体育館)	目標	()	(幼稚園：3校 小学校：1校)	(小学校：2校 中学校：1校)	()	()
		実績	/	幼稚園：3校 小学校：1校	小学校：1校 中学校：1校		/
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績	/			/
進捗状況説明	幼小中学校の外壁や屋根の改修工事を行うことで、学校施設の長寿命化につながり、児童生徒が安全で安心な学習環境を保つことができた。(目標値は、平成24年度からの累計)						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	劣化した屋根や壁面等の改修することで、学校施設の長寿命化を図ることができた。 施工中についても、児童・生徒の学習活動に支障がないよう学校側と調整し円滑に工事を進めることができた。	改築予定のない市内幼小中学校の改修工事をすべて完了し、事業の目標を達成することができた。
今後の取り組み方針		
予定していた学校の長寿命化事業を、すべて完了することができた。 平成25年度で事業を終了する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



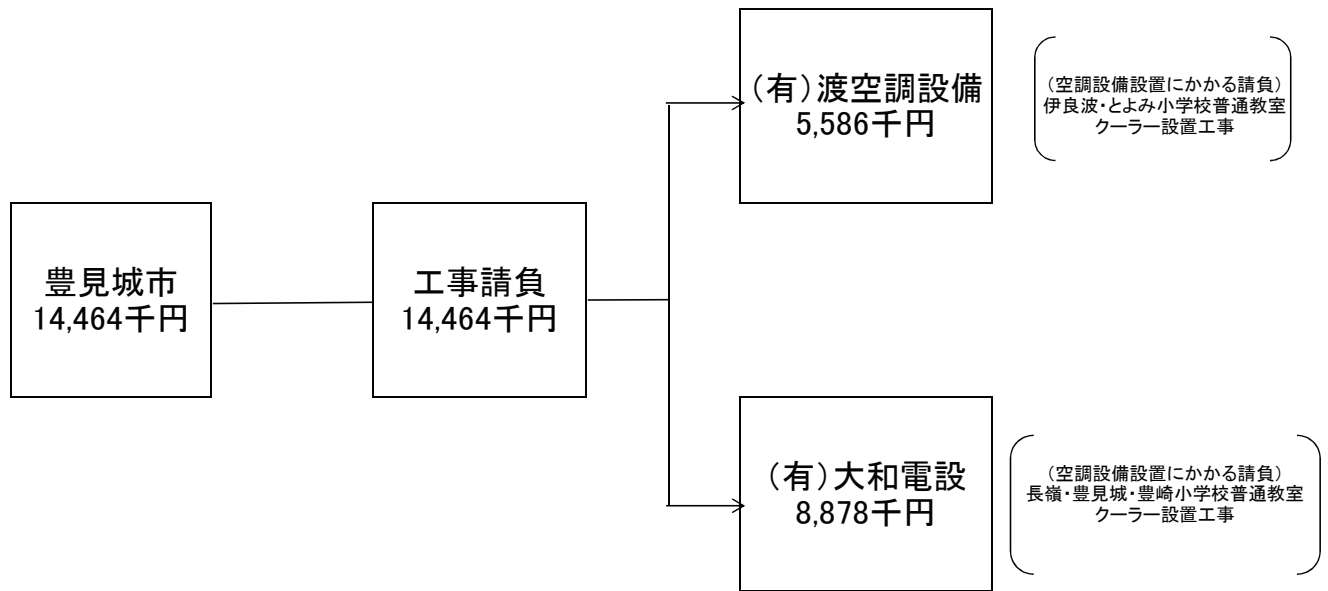
資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	市指名委員会により業者選定を行い、入札により相手方を決定している。 費目・使途については、事業目的にあった支出である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-12	小中学校クーラー設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-5-(3)-ウ	
担当部課名	学校教育部学校施設課	事業実施（予定）年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続くことから、児童・生徒の学習環境を改善し学習に集中できる環境を整備する必要があることから、空調設備を設置する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	6,278			
		(b) 予算現額	4,644	16,673			
		(c) 増減額 (b-a)	4,644	10,395			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	4,644	16,673			
	B. 執行済額		4,327	14,464			
	うち交付金充当額		3,460	11,571			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（%）(B/A)		93.2%	86.8%			
予算の状況の説明		クーラー設置小学校が2校から5校に増えたことにより、10,395千円の増額補正を行った。不用額が2,209千円生じているが、入札残のためであり、達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	空調設備設置校数 小学校：5校 （とよみ・伊良波・長嶺・豊見城・豊崎小学校）	目標	（ 小学校 2校 中学校 1校 ）	（ 小学校 5校 ）	（ ）	（ ）	
		実績	小学校 2校 中学校 1校	小学校 5校			
			目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
達成状況説明	平成25年度小学校の1年生教室に、空調設備を設置することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	空調設備設置校数 小学校：5校 （とよみ・伊良波・長嶺・豊見城・豊崎小学校）	目標	（ ）	（ 小学校2校 中学校1校 ）	（ 小学校 5校 ）	（ ）	（ ）
		実績		小学校 2校 中学校 1校	小学校 5校		
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	平成25年度小学校の1年生教室に、空調設備を設置することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	学習環境の充実が必要と思われる小学校1年生の教室に空調設備を設置することにより、夏季28℃の環境を維持することが出来、児童生徒に生理的、心理的に負担をかけない状態で教育を行うことが出来た。	市内小学校のすべての1年生教室に空調設備の設置が完了し、事業の目標を達成することができた。
今後の取り組み方針		
<p>予定していた学校の空調設置事業を、すべて完了することができた。 平成25年度で事業を終了する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

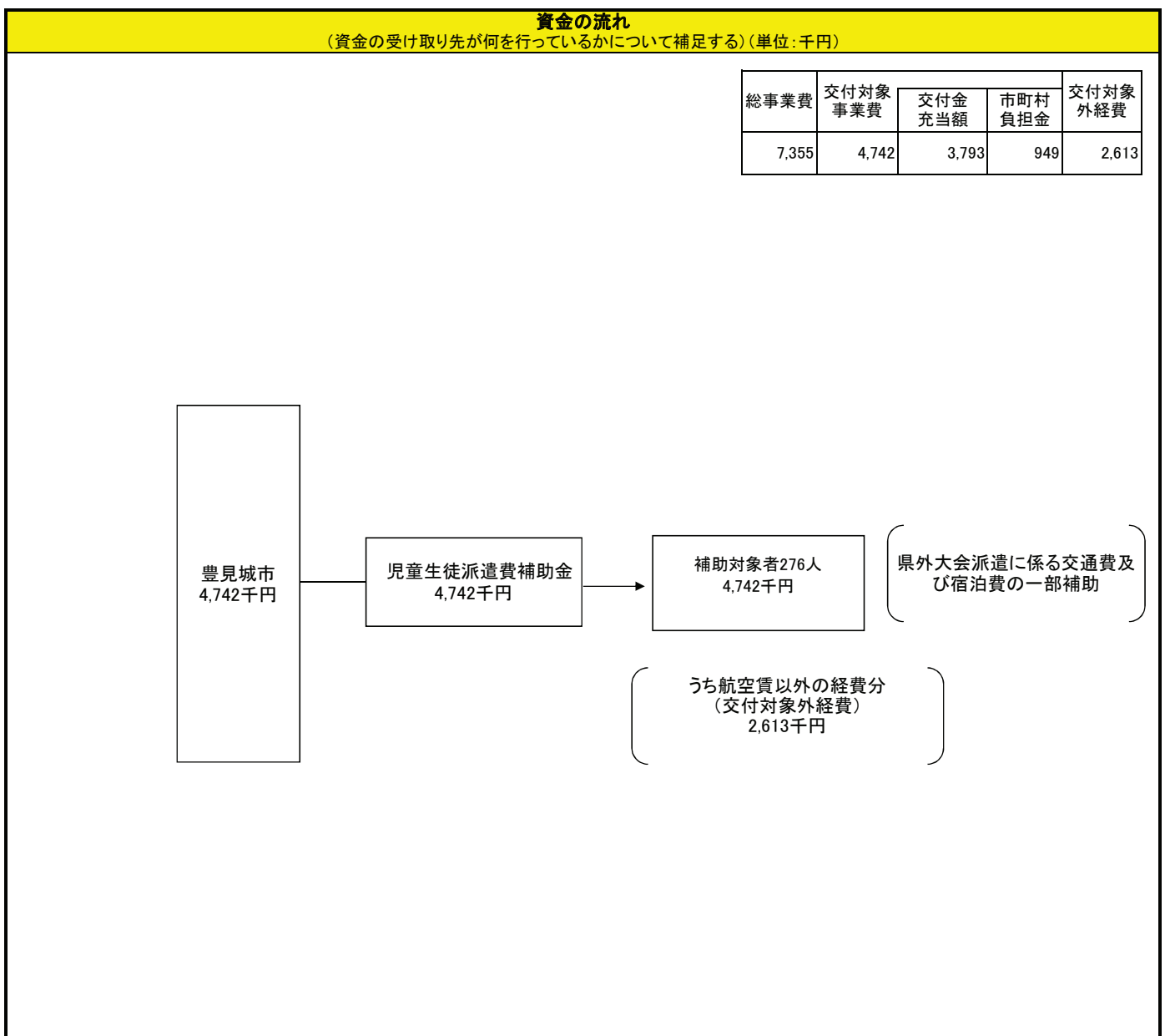
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,464	14,464	11,571	2,893	



資金の 用途の 流れ、 費目・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>請負業者は、企業組織、実績、知識等を勘定した上で指名入札業者を選定し、入札を行っているため妥当であると考えている。また、予算規模については工事請負設計書を作成しているため、妥当であると考えている。</p> <p>費目・用途については、書類や現場の確認等により、空調設備に必要なもので適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑬ 児童生徒派遣費補助事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-イ		
担当部課名	学校教育課 生涯学習部	学校教育課 生涯学習振興課	事業実施 (予定)年度	平成25～28年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する 教育システムの構築 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、児童生徒のスポーツ活動及び文化活動に対し、県外派遣費の一部を補助する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+ 「市町村負担」 ベース）		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,600				
		(b) 予算現額	4,742				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 858				
		(d) 繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	4,742				
	B. 執行済額		4,742				
	うち交付金充当額		3,793				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画していた事業内容は全て執行し、活動指標、成果指標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	大会派遣児童生徒数	目標	(185人)	()	()	()	
		実績	276人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	目標を上回る児童生徒に対して、派遣費補助を行うことが出来た。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (28年度)
	大会派遣児童生徒数	目標	(166人)	()	(185人)	()	()
		実績			276人		
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	目標を上回る児童生徒に対して、派遣費補助を行い、本市の人材育成に役立てることが出来た。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	競技力の向上により、年々派遣の対象となる遠征等が増加傾向にある。将来の沖縄振興に資する児童生徒の人材育成を継続的に行うためにも、派遣費の補助を継続する必要がある。	補助対象の見込みを適切に行い、継続的に児童生徒の人材育成に寄与する。
今後の取り組み方針		
継続的に、対象となる児童生徒の補助を行う。		



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助は交付要綱に沿って行っており、選定方法及び受益者との負担関係並びに事業目的における費目・使途は適正と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑭	青少年国際交流事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア	
担当部課名	生涯学習部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成25～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	市内在住の中高校生をハワイ州に派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を与え、次代を担う国際的人材を育成する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額		4,734			
		(b) 予算現額		5,436			
		(c) 増減額 (b-a)		702			
		(d) 繰越額	—	—			
		A. 計 (b+d)		5,436			
	B. 執行済額			4,578			
	うち交付金充当額			3,662			
	次年度繰越額			0			
	執行率 (%) (B/A)			84.2%			
予算の状況の説明		計画していた事業内容は全て執行し、活動指標、成果指標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	中学生12人、班長として高校生(子ども会ジュニアリーダーより)2人 計14人を派遣	目標	()	(14人)	()	()	
		実績		14人			
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	市内在住中高校生14人を、ハワイ州(マウイ島)へ派遣し、ホームステイをしながら文化・歴史等の視察学習を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	中学生12人、班長として高校生(子ども会ジュニアリーダーより)2人 計14人を派遣	目標	()	()	(14人)	()	()
		実績			14人		
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	派遣後、現地(ハワイ・マウイ島)で学んだ文化・歴史等を派遣生徒関係者を招いて報告会を行った。						

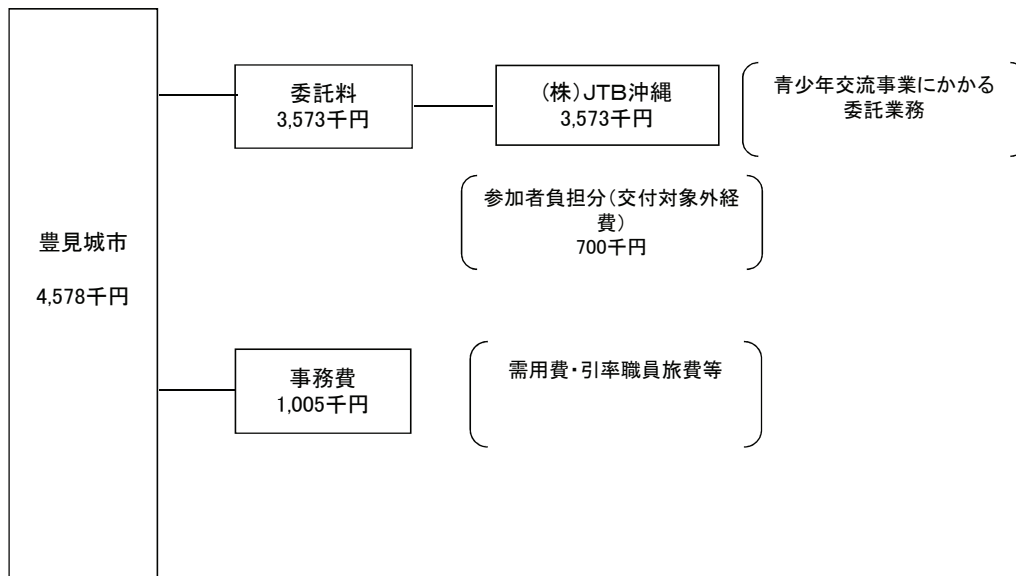
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	市内中学校在籍生徒については、中学校長を通して派遣依頼を行い、市内在住で私立中学校等に在籍している生徒は市広報誌や市ホームページを活用して募集したため派遣目標数を達成した。	派遣目標数は達成したが、派遣生徒の帰国後の意識調査を行い、生徒の意識向上につながる事業を行う。

今後の取り組み方針

意欲的に学習する生徒を選考し、海外へ派遣するために、今年度派遣した生徒が次年度派遣する生徒へ体験談を交えながら意見交換できる場を事前学習で取り入れ、現地研修に活用させる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,277	4,578	3,662	916	700



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者はプロポーザル方式により企業組織、実績、知識等勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○事業目的達成に適した用途の支出であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	豊見城市内文化財説明板設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-7	
担当部課名	生涯学習部 文化課	事業実施（予定）年度	平成24年度～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり Ⅲ-3-(2)	
事業内容	本市に存する文化財を始めとする歴史資源の説明板を設置し、それらに対する地域住民等の理解・関心を深め、保全・継承を促すとともに、新たな文化、観光資源として活用を目指す。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,990	0	4,200		
		(b) 予算現額	3,990	0	4,200		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0		
		(d) 繰越額	0	3,990	0		
		A. 計 (b+d)	3,990	3,990	4,200		
	B. 執行済額		0	3,354	3,297		
	うち交付金充当額		0	2,683	2,637		
	次年度繰越額		3,990	0	0		
	執行率（%）(B/A)		0.0%	84.1%	78.5%		
予算の状況の説明		・不要額が904千円発生しているが、委託費の入札残による契約額の減である。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	市内文化財説明板設置件数	目標	(5基)	(5基)	()	()	
		実績	5基	5基			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	市民に文化財等への理解・関心を深め、保全・継承を促すことを目的に文化財説明板を設置した。平成25年度は、ジョン万次郎と翁長高安家(字高安)・田頭のシーサー(字田頭)・津屋(字豊見城)・トウドウルチガー(字高嶺)・平良グスク(字平良)の5基の設置が完了し、目標数を達成した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	市内文化財説明板設置件数	目標	(無)	(5基)	(5基)	()	()
		実績		5基	5基		
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	文化財説明板の設置は当初計画の目標値を達成している。説明板設置によって当該文化財等の詳細な情報の周知が可能となった。そのことで「地域学習」や「地域づくり」「観光振興」にも寄与し、市の文化・歴史の発信につながっている。					

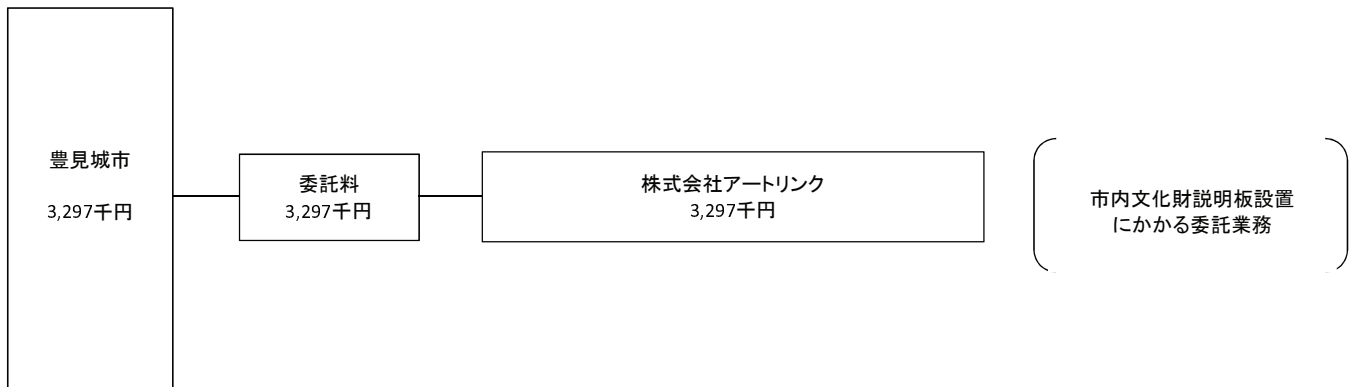
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 文化財説明板の設置最終目標数は20基で設定しており、平成25年度までに10基設置完了した事で全体の50%を完了した。 対象とする文化財の選定や地権者、地域との調整等も問題なく行うことが出来た。設置数も目標通り行っているため、今後も確実に目標を達成していく。 市内に数ある文化財の中から、文化財保護に対する意識高揚の寄与が期待できる文化財を優先的に選定し、説明板を設置した。 説明板を設置した文化財の所在地を広報する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に存する文化財を始めとする歴史資源を次代へ正しく、そして身近な存在として継承していくためにも、文化財説明板の持続的設置と適切な説明表示を行っていく。また、説明板を設置した文化財の所在地を周知する広報活動が必要である。

今後の取り組み方針

- ・年次計画をもって、文化財説明板の設置を進めていく。
- ・設置する文化財の選定や地権者や地域との調整、文化財の説明文作成等を早期に着手して事業を進めていく。
- ・説明板を設置した文化財を巡る文化講座の開催や広報誌やホームページ等を通じて市民に周知を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

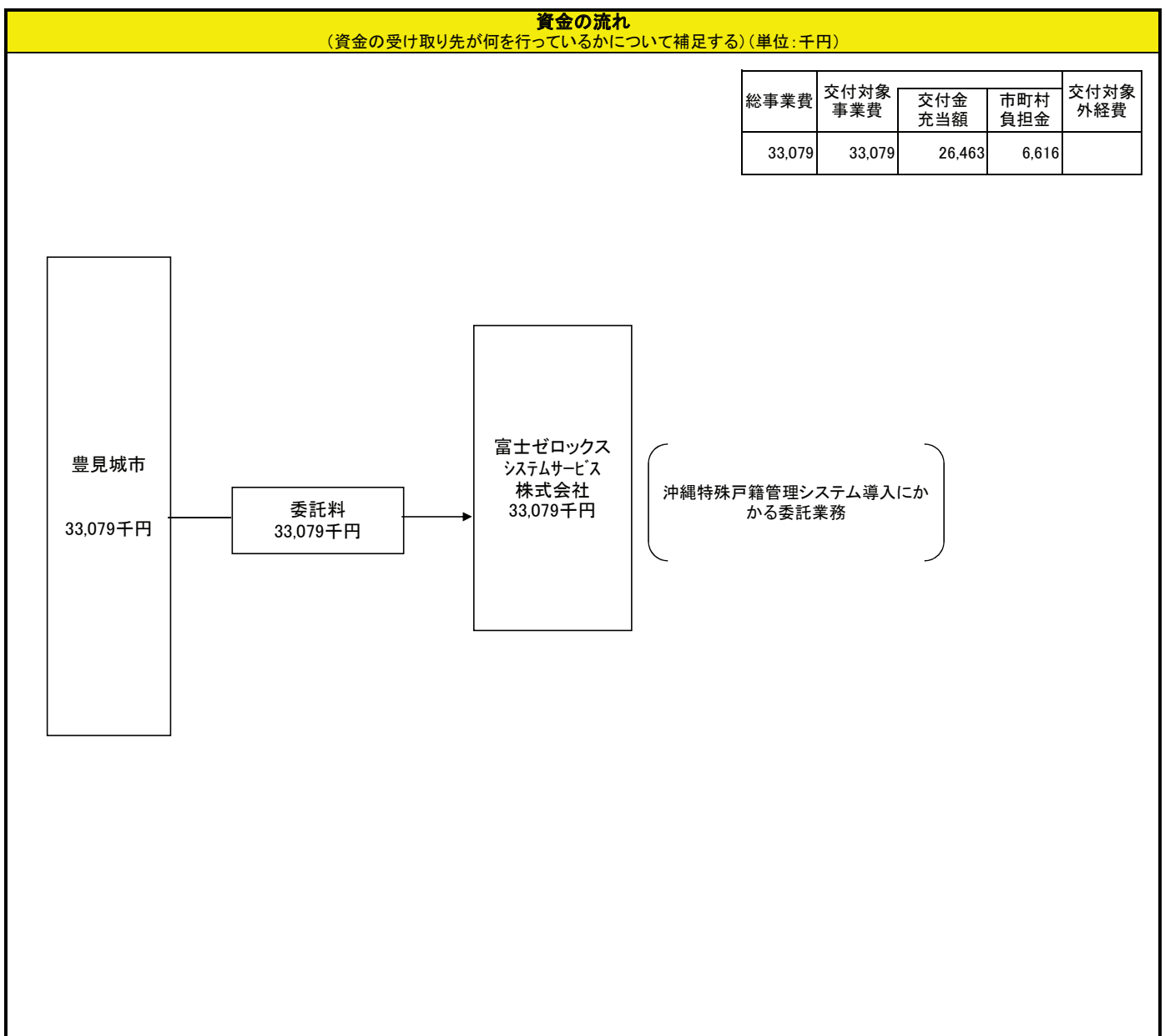
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,297	3,297	2,637	660	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札方式によって適切に選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	沖縄特殊戸籍システム導入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ		
担当部課名	市民健康部市民課	事業実施（予定）年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決 Ⅲ-12		
事業内容	沖縄戦で滅失し、再編された仮戸籍等（紙原本）の劣化に対応するため、データベース化し磁気ディスクへ保存することで、長期保存の可能な状態にする。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額		33,098				
	(b) 予算現額		33,098				
	(c) 増減額 (b-a)	0	0				
	(d) 繰越額	—	0				
	A. 計 (b+d)	0	33,098				
	B. 執行済額		33,079				
	うち交付金充当額		26,463				
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)		99.9%				
予算の状況の説明	19千円の不用額があるが、委託事業者との調整後の費用減額分であり、事業内容は当初計画していた内容を全て実施。成果目標の達成状況からみても適正だったと考える。						
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	沖縄関係戸籍（仮戸籍等）の関連する資料の電算化を実施（対象資料枚数49,727枚）	目標	()	(電算化実施)	()	()	
		実績		電算化実施			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	紙ベースであった、沖縄関係戸籍の資料（仮戸籍申告書・福岡戸籍・臨時戸籍・受附帳）の電算化を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）	基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	沖縄特殊戸籍のシステム構築（電算化率100%）	目標	()	()	(100%)	()	()
		実績			100%		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	沖縄関係戸籍の資料を電算化、管理システムを構築した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	紙ベースの戸籍を電算化したことにより、長期保存が可能となった。	管理システムを構築し、既存の戸籍システムへ追加した。それにより、検索や現在戸籍との照合等が容易になった。
今後の取り組み方針		
<p>これまで、申請から証明発行まで時間を要していたが、今後はシステム上で照合、発行が可能となり、迅速な住民サービスが可能となる。</p>		



資金の流 れの点 検・費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は随意契約であるが、他社への見積り依頼、市 情報化推進委員会へ審議依頼等を行った上で決定しており、 妥当であったと考えている。 ○費目等については事業目的達成の観点から必要なものな のか等について額の確定時において支出等に関する書類に より確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	